



## 問題の表示と管理

- [問題について](#) (1 ページ)
- [機械推論エンジンについて](#) (2 ページ)
- [VLAN に関連するレイヤ 2 ループの問題について](#) (2 ページ)
- [未解決の問題を表示](#) (3 ページ)
- [MRE を使用した有線クライアントの問題のトラブルシューティング](#) (19 ページ)
- [解決済みの問題の表示](#) (22 ページ)
- [無視された問題の表示](#) (24 ページ)
- [問題の解決または無視](#) (26 ページ)
- [無線にアクティビティなしの問題のトリガー](#) (28 ページ)
- [自動問題解決](#) (28 ページ)
- [グローバルな問題の設定の管理](#) (32 ページ)
- [ユーザー定義問題の設定の管理](#) (33 ページ)
- [カスタム問題の設定の管理](#) (34 ページ)
- [問題の通知の有効化](#) (36 ページ)
- [アシュアランス、Cisco AI Network Analytics、および MRE の問題](#) (39 ページ)

## 問題について

アシュアランスシステムガイド付きとガイドなしの両方のトラブルシューティングを提供します。アシュアランスは多くの問題に対してシステムガイド付きアプローチを提供します。このアプローチでは、複数の重要業績評価指標 (KPI) が関連付けられています。また、テストやセンサーからの結果に基づき問題の根本原因が特定された後に、考えられる解決策が提供されます。データの監視ではなく、問題点を浮き彫りにすることに重点が置かれています。アシュアランスでは、非常に頻繁にレベル 3 サポートエンジニアの作業が実行されます。

Cisco DNA Center では、Cisco AI Network Analytics を使用して AI 駆動型の問題を表示およびトラブルシューティングできます。Cisco AI Network Analytics は、高度な人工知能 (AI) や機械学習 (ML) テクノロジーを基盤としたクラウドベースの学習プラットフォームを活用して、問題のインテリジェントな検出と分析を実現します。異常を検知すると、根本原因を特定してトラブルシューティングを容易にします。

Cisco AI Network Analytics 次のタイプのクラウドベースの AI 駆動型の問題を検出できます。

- **接続の問題**（オンボーディングの問題）：過剰な時間、過剰な障害回数、過剰な関連付け時間、過剰な関連付け障害回数、過剰な認証時間、過剰な認証障害回数、過剰な DHCP 時間、過剰な DHCP 障害回数。
- **アプリケーションエクスペリエンスに関する問題**：無線スループットの合計、メディアアプリケーションのスループット、クラウドアプリケーションのスループット、コラボレーションアプリケーションのスループット、およびソーシャルアプリケーションのスループット。

## 機械推論エンジンについて

機械推論エンジン（MRE）は、ネットワーク自動化エンジンであり、人工知能（AI）を使用して複雑なネットワーク運用ワークフローを自動化します。完全に自動化された推論エンジンに人間の知識と専門知識をカプセル化し、複雑な根本原因の分析、問題や脆弱性の検出、および手動または自動による是正処置の実行を支援します。MRE は、シスコのネットワークングエキスパートによって構築された、クラウドホスト型のナレッジベースを実装しています。

MRE を使用して、有線クライアントの問題、レイヤー 2 ループの問題、および PoE の問題をトラブルシューティングできます。問題のリストについては、[MRE の問題（59 ページ）](#) を参照してください。

手順については、[MRE を使用した有線クライアントの問題のトラブルシューティング（19 ページ）](#)、[レイヤ 2 のループ問題に関与するインスタンスの詳細（12 ページ）](#)、[PoE の問題に関する問題インスタンスの詳細（16 ページ）](#) を参照してください。

## VLAN に関連するレイヤ 2 ループの問題について

レイヤ 2 のループ問題は、1 つ以上の VLAN パスで転送ループが形成されたときに発生します。この場合、リンクとデバイスが最大キャパシティに達するまで、パケットは転送され、影響を受けるパスで無限に増幅されます。ブロードキャストストームが発生すると、レイヤ 2 ネットワーク全体は即時にシャットダウンします。MRE の次の機能を使用することで、レイヤ 2 のループ問題をトラブルシューティングできます。

- ループに関係すると考えられる VLAN とポートが表示されます。
- ループに関係しているデバイスが表示されます。



(注) レイヤー 2 ループのスケールに関する制約事項は、次のとおりです。

- VLAN 数は 10 です。
- VLAN ごとのデバイス数は 30 です。



**重要** 現在、MRE では、アンマネージドネットワーク デバイス、仮想マシン、または Cisco DNA Center で認識されるトポロジには含まれないエンティティが原因で発生するレイヤ 2 のループについては、根本原因分析が実行されません。

## 未解決の問題を表示

次のカテゴリに分類される未解決の問題をすべて表示するには、次の手順を実行します。

- **しきい値ベースの問題**：アシュアランス によって検出された問題。
- **駆動型の問題**：Cisco AI Network Analytics によって検出された問題。これらの問題は、特定のネットワーク環境の予測基準からの乖離度に基づいてトリガーされます。

Cisco DNA Center で Cisco AI Network Analytics アプリケーションをインストールおよび設定している場合は、次のタイプのクラウドベース AI 駆動型に関する問題を確認できます。

- **接続の問題**（オンボーディングの問題）：過剰な時間、過剰な障害回数、過剰な関連付け時間、過剰な関連付け障害回数、過剰な認証時間、過剰な認証障害回数、過剰な DHCP 時間、過剰な DHCP 障害回数。



(注) 接続の問題が表示されるようにするには、AP がサイトに適切に割り当てられていることを確認してください。

- **アプリケーションエクスペリエンスに関する問題**：無線スループットの合計、メディアアプリケーションのスループット、クラウドアプリケーションのスループット、コラボレーションアプリケーションのスループット、およびソーシャルアプリケーションのスループット。



(注) アプリケーションエクスペリエンスに関する問題を表示するには、ワイヤレスコントローラで Application Visibility and Control (AVC) が有効になっていることを確認してください。スループットの問題では、AVC データに基づいて基準化と異常検出を行います。

- **レイヤ 2 ループの問題と PoE の問題**：アシュアランス によって検出された、MRE ワークフローを使用してトラブルシューティングできる問題。[機械推論エンジンについて \(2 ページ\)](#) を参照してください。

## 始める前に

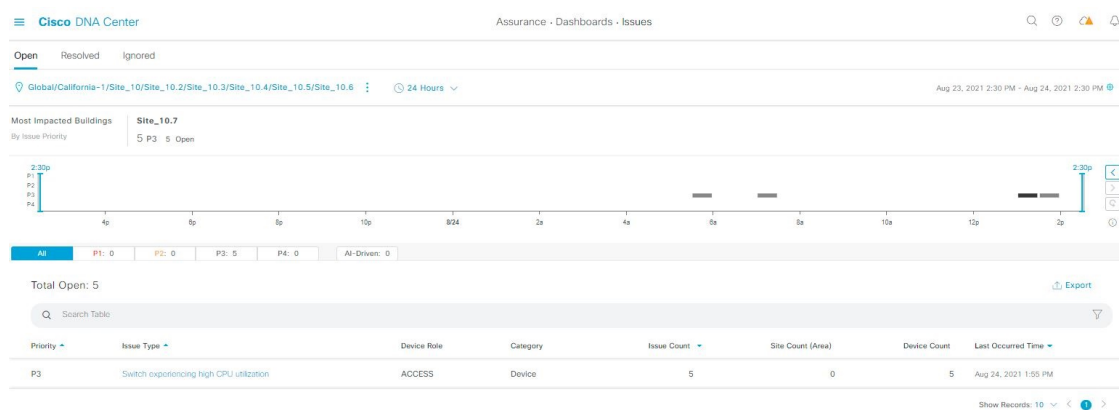
- 人工知能（AI）および機械学習（ML）テクノロジーを使用してインテリジェントな問題の検出と分析を行う AI 駆動型クラウドベースの問題を表示するには、Cisco AI Network Analytics データ収集が設定されていることを確認します。Cisco AI Network Analytics の設定を参照してください。
- syslog メッセージを表示するため、syslog が設定されていることを確認します。『Cisco Digital Network Architecture Center ユーザー ガイド』で「テレメトリを使用した Syslog、SNMP トラップ、NetFlow コレクタサーバー、および有線クライアントデータ収集の設定」を参照してください。









**ステップ 1** 次のいずれかを実行します。

- Cisco DNA Center ホームページの **アシュアランス [Summary]> [Critical Issues]** エリアで、**[View Details]** を選択します。
- 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Assurance]> [Issues and Events]** の順に選択します。


[Open Issues] ダッシュボードが表示され、次の情報が示されます。

図 1: [Open Issues] ダッシュボード




[Open Issues] ダッシュボード	
アイテム	説明
 Global	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部のメニューバーで  Global をクリックして、サイト階層からサイト、建物、またはフロアを選択します。</li> <li>ロケーションアイコンの横にある  をクリックし、[Site Details] を選択して [Sites] テーブルを表示します。</li> <li>ドロップダウンリストから [Hierarchical Site View] または [Building View] を選択します。選択した項目に基づいて、テーブルが更新されます。</li> <li>[Go to sites] 列でサイトまたは建物の  をクリックすると、そのロケーションのデータのみが [Open Issues] ダッシュボードに表示されます。</li> </ul>
 [Time Range] の設定	<p>選択した時間範囲に基づく情報をウィンドウに表示できます。デフォルトは [24 Hours] です。次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[24 Hours] ドロップダウンリストで、時間範囲 ([3 hours]、[24 Hours]、または [7 days]) を選択します。</li> <li>[Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。</li> <li>[Apply] をクリックします。 これにより、タイムラインの範囲が設定されます。</li> </ol>
タイムラインスライダ	<p>より詳細な時間範囲を指定できます。時間範囲を指定するには、タイムライン境界線をクリックしてドラッグします。</p> <p>色は、問題のプライオリティを表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : P1</li> <li> : P2</li> <li> : P3 および P4</li> </ul> <p>(注) 色の明度は重要性（そのプライオリティ レベルで発生した問題数の多寡）を示します。たとえば、薄い黄色は、濃い黄色よりも（未解決の）P2 問題が少ないことを示します。</p>
Most Impacted Areas	<p>問題のプライオリティに基づいて最も影響を受けるエリアに関する情報が表示されます。ハイパーリンクされたロケーションをクリックすると、問題が発生した建物とフロアにドリルダウンします。</p>

ステップ 2 [All]、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかのタブをクリックすると、[Issue Type] テーブルにそのカテゴリの問題のリストが表示されます。

[Open Issue] ウィンドウの [Issue Type] 表	
アイテム	説明
<b>Total Open</b>	アクションを必要とする未解決の問題の合計数が表示されます。 [Total Open] の値は、選択したタブに応じて変わります。[All] (デフォルト)、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかを選択できます。
<b>Priority</b>	問題タイプの優先度レベル (事前割り当てされたもの)。
<b>Issue Type</b>	問題のタイプ。 (注) AI 駆動型の問題の場合、問題のタイプの前に  アイコンが表示されます。
<b>Device Role</b>	問題が検出されたデバイスに割り当てられたロール。ロールは、[Access]、[Core]、[Distribution]、[Border Router]、または [Unknown] です。
<b>Category</b>	問題の種類が分類されるカテゴリ (接続、可用性、オンボード、使用状況など)。
<b>Issue Count</b>	この種類の問題が発生した回数。
<b>Site Count (Area)</b>	このタイプの問題が発生したサイトの数。
<b>Device Count</b>	このタイプの問題の影響を受けたデバイスの数。
<b>Last Occurred Time</b>	この問題が発生した最新の日付と時刻。

ステップ 3 [Issue type] テーブルで、問題のタイプをクリックします。

最初のスライドインペイン [Issue Instances] に、その問題タイプに関するすべての問題が次の情報とともに一覧表示されます。

[Issue Instance] (最初のスライドインペイン)	
アイテム	説明
<b>Open Issues</b>	その問題タイプで未解決の問題の数。
<b>Area</b>	問題の影響を受けるビルディングとフロアの数。
[Device]	問題の影響を受けるデバイスの数。
[Actions] ドロップダウン リスト	個別に問題を解決または無視することも、一度に大量の問題を解決または無視することもできます。 <a href="#">問題の解決または無視 (26 ページ)</a> を参照してください。
<b>Issue</b>	問題の説明。 管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (  ) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。
<b>Site</b>	問題の影響を受けたサイト、ビルディング、またはフロア。

[Issue Instance] (最初のスライドインペイン)	
アイテム	説明
[Device]	問題の影響を受けたデバイス。デバイス名をクリックして、[Device 360] ウィンドウを開きます。
Device Type	問題の影響を受けたデバイスのタイプ。
Issue Count	この種類の問題が発生した回数。
Last Occurred Time	問題が発生した日付と時刻。
Last Updated Time	この問題の最終更新日時。
Updated By	この問題を更新したエンティティ名。

ステップ 4 [Issue Instances] スライドインペインの [issue] 列で、問題をクリックします。

2 番目のスライドインペイン [Issue Instance Details] に、問題に関する具体的な詳細が表示されます。問題に応じて、説明と推奨されるアクションが表示されます。これらの問題の詳細については、次のセクションを参照してください。

- [AI 駆動型の問題に関するインスタンスの詳細 \(7 ページ\)](#)
- [AP 切断の問題についての \[Issue Instance Details\] \(11 ページ\)](#)
- [レイヤ 2 のループ問題に関するインスタンスの詳細 \(12 ページ\)](#)
- [PoE の問題に関する問題インスタンスの詳細 \(16 ページ\)](#)


## AI 駆動型の問題に関するインスタンスの詳細



(注) [Issue Instance Details] スライドインペインは、[Issue Instance Details] のワークフローの一部です。「[未解決の問題を表示 \(3 ページ\)](#)」の [ステップ 4](#) を参照してください。

AI 駆動型の問題が発生すると、[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン) に次の情報が表示されます。



[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
説明 (Description)	問題の説明。

[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
[Status] ドロップダウンリスト	<p>問題のステータスを変更できます。次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。</li> <li>問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>[Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。</li> <li>スライダで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
注アイコン (📎)	<p>管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📎) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。</p>
[Summary] エリア	<p>問題の簡単な要約。ここには、影響を受ける無線、無線の場所、問題が発生した日時、問題の場所などの情報が表示されます。</p>
[Impacted Summary for this Network]	<p>問題によって影響を受けた場所と、影響を受けたクライアント数に関する情報が表示されます。</p>
[Feedback] アイコン	<p> アイコンをクリックして、このページの情報が役に立ったかどうかについてコメントを入力し、[Submit] をクリックしてください。</p>



[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
<b>Problem</b>	<p>問題の簡単な説明と、実際の KPI 値が予測した正常な動作からどの程度乖離しているかを視覚的に示すグラフが表示されます。</p> <p>デフォルトでは、次の図に示すように、グラフは問題発生の前後 6 時間にズームインされます。</p> <p><b>図 2: 問題のチャート</b></p> <p>AI 駆動型の問題のチャートでは、詳細がさまざまな色で表されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>緑色の帯域</b>：機械学習に基づいて予測されたネットワークの正常な動作。</li> <li>• <b>青色の実線</b>：実際の KPI 値。</li> <li>• <b>垂直の赤色の線またはバー</b>：問題を示します。青色の線（実際の KPI 値）が緑色の帯域（予測される正常な動作）の外側になると、問題が発生します。</li> <li>• <b>垂直の黄色のバー</b>：類似のイベントが発生したことを示します。</li> </ul> <p>グラフの上にカーソルを移動すると、選択した時点での KPI 値、予測下限値、予測上限値などの同期情報が表示されます。</p>
<b>Impact</b>	<p>問題の影響を受ける接続済みクライアント、AP、デバイス、およびアプリケーションに関する情報が表示されます。</p> <p>過剰なオンボーディング時間と失敗、過剰な DHCP、アソシエーション、または認証時間と失敗については、[Impacted Clients] タブと [Top 10 Impacted APs] タブが表示されます。</p> <p>合計無線スループットおよびアプリケーションスループット（クラウド、コラボレーション、メディアおよびソーシャル）については、[Impacted Clients] タブ、[Device Breakout] タブ、[Applications TX / RX] タブが表示されます。</p> <p>タブをクリックすると、チャートとチャートの下の表が更新されます。</p>

## [Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)

アイテム	説明
<b>Root Cause Analysis</b>	<p>次の図に示すように、問題とその問題の原因として考えられるネットワーク関連の原因がチャートに表示されます。</p> <p><b>図 3: 根本原因の分析チャート</b></p>  <p>過剰なオンボーディング時間と失敗については、[Network Causes] タブ、[Failed Distribution] タブ、[Failed Percentage] タブ、[Failed Count] タブが表示されます。</p> <p>過剰な DHCP、アソシエーション、または認証時間については、[Network Causes] タブ、[Top Impacted APs] タブ、[Top Impacted Times] タブが表示されます。</p> <p>過剰な DHCP、アソシエーション、または認証の失敗については、[Network Causes] タブ、[Top Impacted APs] タブ、[Top Impacted Failures] タブが表示されます。</p> <p>合計無線スループットおよびアプリケーションスループット（クラウド、コラボレーション、メディアおよびソーシャル）については、[Network Causes] タブが表示されます。</p> <p>タブをクリックすると、下のチャートが更新されます。</p> <p>追加された KPI のグラフを表示するには、[KPI]  アイコンをクリックし、KPI を選択してから、[Apply] をクリックします。</p>
<b>Suggested Actions</b>	<p>この問題を解決するために実行できるアクションが表示されます。</p>

## AP 切断の問題についての [Issue Instance Details]



(注) [Issue Instance Details] スライドインペインは、[Issue Instance Details] のワークフローの一部です。「未解決の問題を表示 (3 ページ)」のステップ 4 を参照してください。

AP 切断の問題が発生すると、[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン) に次の情報が表示されます。

AP 切断の [Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
[Status] ドロップダウン リスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決するには、[Status] ドロップダウン メニューで [Resolve] を選択します。</li> <li>問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>[Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。</li> <li>スライダで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
注アイコン (📎)	管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📎) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。
[Insights]	問題の簡単な要約として、影響を受けるスイッチ、問題の発生日時、スイッチの場所などの情報が表示されます。
[Impact Summary]	影響を受けるサイト、クライアント、および AP の数が表示されます。
[Problem Details]	<p>次の詳細を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題に関連するデバイスの説明 (既知の場合)。</li> <li>関連する問題 (ある場合) とその問題の詳細へのリンク。</li> <li>影響を受ける AP、その場所と電力の情報、切断の理由など、問題に関する詳細。</li> <li>スイッチとそれに接続されている隣接デバイスを含む物理ネットワーク。</li> </ul>
[Impact Details]	影響を受ける AP に接続されたワイヤレスクライアントとその場所が一覧表示されます。

AP 切断の [Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
Suggested Actions	この問題を解決するために実行できるアクションが表示されません。

## レイヤ2のループ問題に関するインスタンスの詳細



- (注) [Issue Instance Details] スライドインペインは、[Issue Instance Details] のワークフローの一部です。「未解決の問題を表示 (3 ページ)」のステップ 4 を参照してください。
- レイヤ2のループ問題と機械推論エンジンについては、「機械推論エンジンについて (2 ページ)」を参照してください。




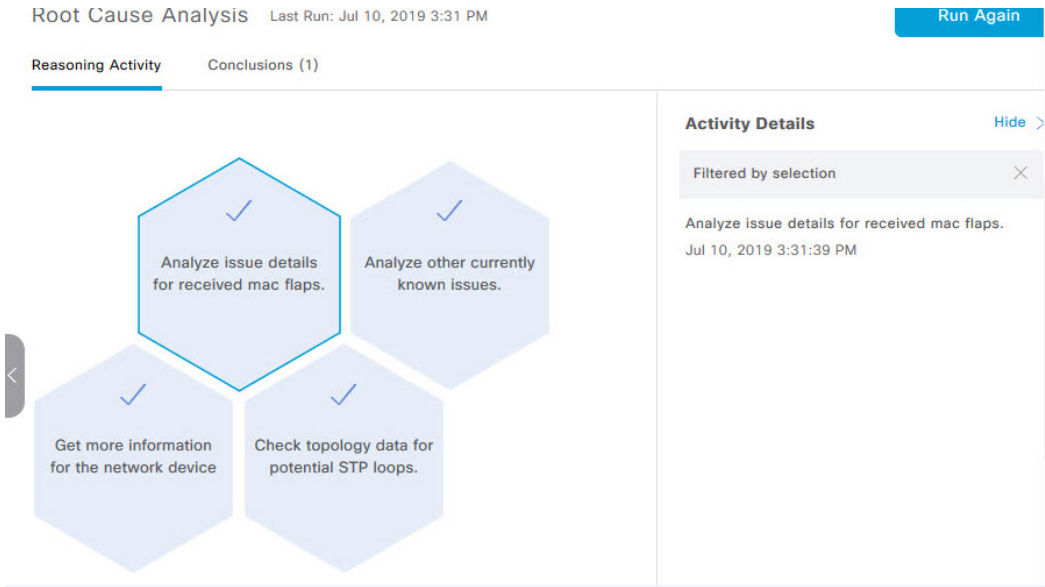
- (注) レイヤー 2 ループのスケールに関する制約事項は、次のとおりです。
- VLAN 数は 10 です。
  - VLAN ごとのデバイス数は 30 です。

機械推論をサポートするレイヤー 2 のループ問題については、[Issue Instance Details] スライドインペインに次の情報が表示されます。

[Issue Instance Details] (2 番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
[Status] ドロップダウンリスト	問題のステータスを変更できます。次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。</li> <li>• 問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。</li> <li>2. スライダーで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
注アイコン (📎)	管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📎) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。
Summary	問題の概要。デバイス、ルール、時間、場所、考えられる根本原因などの情報が含まれます。ループしている可能性のある VLAN やポートなどの初期アセスメントも提供されます。

[Issue Instance Details] (2番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
<b>Problem Details</b>	<p>問題についての簡単な説明と以下の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [Relevant Events] ドロップダウンリスト：ループ中に発生したイベントが一覧表示されます。イベントをクリックすると、サイドペインに詳細情報が表示されます。</li><li>• [Potential Loop Details] ドロップダウンリスト：ループ情報（デバイス、ロール、ループ状態のポート、デュプレックスモード、ループに関与しているVLANなど）が表示されます。</li></ul>

[Issue Instance Details] (2番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
Root Cause Analysis	

アイテム	説明
	<p>機械推論エンジン（MRE）により、複雑な根本原因を分析して、是正措置を提案できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Run Machine Reasoning] をクリックすると、MRE によるトラブルシューティングが開始されます。トラブルシューティングが完了すると、[Run Machine Reasoning] ポップアップダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. このポップアップダイアログボックスで、[View Details] をクリックします。[Root Cause Analysis] エリアが表示されます。デフォルトでは [Conclusions] タブが開き、根本原因分析の詳細が表示されます。</li> <li>3. [Conclusions] エリアで [View Relevant Activities] をクリックすると、アクティビティの詳細が表示されます。このアクティビティは、根本原因分析の各ステップで使用されたコマンドを示します。</li> <li>4.  アイコンをクリックして、このページの情報が役に立ったかどうかについてフィードバックを入力し、[Submit] をクリックしてください。</li> <li>5. [Reasoning Activity] タブをクリックすると、MRE がどのようにしてその結論に到達したのかがわかります。各推論アクティビティは、次の図に示すように、七角形のブロックで表示されます。各七角形ブロックをクリックすると、右側のペインにアクティビティの詳細が表示されます。</li> </ol> <p>実行中の推論アクティビティをキャンセルするには、[Stop] をクリックします。</p> <p>(注) チェックマークは、ステップが完了したことを示します。</p> <p><b>図 4: 推論アクティビティ</b></p>  <p>The screenshot shows the 'Reasoning Activity' interface. At the top, it says 'Root Cause Analysis' with 'Last Run: Jul 10, 2019 3:31 PM' and a 'Run Again' button. Below this are two tabs: 'Reasoning Activity' (selected) and 'Conclusions (1)'. The main area displays a diagram of four interconnected hexagonal activity blocks, each with a checkmark. The blocks are: 'Analyze issue details for received mac flaps.', 'Analyze other currently known issues.', 'Get more information for the network device', and 'Check topology data for potential STP loops.'. To the right is an 'Activity Details' panel with a 'Hide &gt;' button. It shows 'Filtered by selection' and the text 'Analyze issue details for received mac flaps. Jul 10, 2019 3:31:39 PM'.</p>

[Issue Instance Details] (2番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
	6. MRE を再実行する場合は、[Run Again] をクリックします。
[Topology] アイコン	✳ アイコンをクリックすると、ループが発生したネットワークセグメントのトポロジが表示されます。

## PoEの問題に関する問題インスタンスの詳細



(注) [Issue Instance Details] スライドインペインは、[Issue Instance Details] のワークフローの一部です。「未解決の問題を表示 (3 ページ)」のステップ 4 を参照してください。


機械推論をサポートする PoE の問題については、[Issue Instance Details] スライドインペインに次の情報が表示されます。

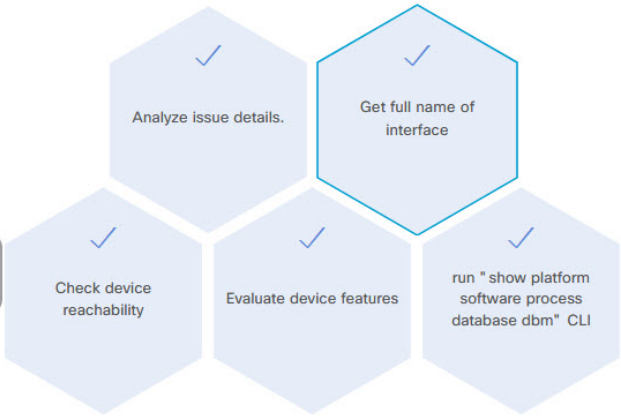
[Issue Instance Details] (2番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
[Status] ドロップダウンリスト	問題のステータスを変更できます。次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。</li> <li>問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>[Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。</li> <li>スライダを使用して、問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
注アイコン (📎)	管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📎) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。
Summary	問題の概要。デバイス、ロール、時間、場所、考えられる根本原因などの情報が含まれます。
Problem Details	問題の簡単な説明と次の情報が提供されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[Event Types] タブ：発生したイベントのタイプのタブが含まれます。イベントのタブをクリックすると、そのイベントタイプに関するエラーのリストが表示されます。</li> <li>[Errors]：各イベントタイプに関して発生したエラー。エラーは、クリックした [Event Types] タブに基づいて更新されます。</li> <li>[Detailed Information]：エラーをクリックすると、そのエラーに関する追加情報が表示されます。</li> </ul>



**[Issue Instance Details]** (2番目のスライドインペイン)

アイテム	説明
<b>Root Cause Analysis</b>	

[Issue Instance Details] (2番目のスライドインペイン)	
アイテム	説明
	<p>機械推論エンジン (MRE) により、複雑な根本原因を分析して、是正措置を提案できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Run Machine Reasoning] をクリックすると、MRE によるトラブルシューティングが開始されます。トラブルシューティングが完了すると、[Machine Reasoning Completed] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. このポップアップダイアログボックスで、[View Details] をクリックします。[Root Cause Analysis] エリアが表示されます。デフォルトでは [Conclusions] タブが開き、根本原因分析の詳細が表示されます。</li> <li>3. [Conclusions] エリアで [View Relevant Activities] をクリックすると、アクティビティの詳細が表示されます。このアクティビティは、根本原因分析の各ステップで使用されたコマンドを示します。</li> <li>4.  アイコンをクリックして、このページの情報が役に立ったかどうかについてフィードバックを入力してください。</li> <li>5. [Reasoning Activity] タブをクリックすると、MRE がどのようにしてその結論に到達したのかがわかります。各推論アクティビティは、次の図に示すように、七角形のブロックで表示されます。各七角形ブロックをクリックすると、右側のペインに [Activity Details] が表示されます。</li> </ol> <p>実行中の推論アクティビティをキャンセルするには、[Stop] をクリックします。</p> <p>(注)      チェックマークは、ステップが完了したことを示します。</p> <p>図 5: 推論アクティビティ</p>

アイテム	説明
	<div data-bbox="472 344 1503 961"> <p>Root Cause Analysis Last Run: Oct 12, 2020 12:43 PM <span>Run Again</span> ⓘ</p> <p>Reasoning Activity Conclusions (1)</p>  <p>Activity Details <span>Hide &gt;</span></p> <p>Filtered by selection ×</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> <li>Get full name of interface Oct 12, 2020 12:43:53 PM ⓘ</li> </ul> </div> <p>6. MRE を再実行する場合は、[Run Again] をクリックします。</p>

## MRE を使用した有線クライアントの問題のトラブルシュー

アシュアランスによって検出された有線クライアントの問題を表示し、MRE ワークフローを使用してトラブルシューするには、次の手順を使用します。MRE をサポートする有線クライアントの問題のリストについては、[MRE の問題 \(59 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に

MRE ナレッジベースが最新のナレッジパックで更新されていることを確認します。[機械推論 ナレッジベースの更新](#)を参照してください。

**ステップ 1** [Health] 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：アシュアランス >。

[Overall Health] ダッシュボードが表示されます。

**ステップ 2** [Client] タブをクリックします。

[Client Health] ダッシュボードが表示されます。

**ステップ 3** [Wired Clients] サマリーエリアで、[View Details] をクリックしてスライドインペインを開きます。

**ステップ 4** スライドインペインの [Wired Clients] チャートで、[Authentication] または [DHCP] をクリックします。

[Authentication] をクリックすると、チャートの下に [Top Authentication Failure Reason]、[Top Location]、[Top Switch]、[Top Host Device Type] の情報が表示されます。認証に失敗したクライアントのリストを示すテーブルも表示されます。

[DHCP] をクリックすると、チャートの下に [Top DHCP Failure Reason]、[Top Location]、[Top Switch]、[Top Host Device Type] の情報が表示されます。テーブルも表示されます。

**ステップ 5** 次のいずれかを実行します。


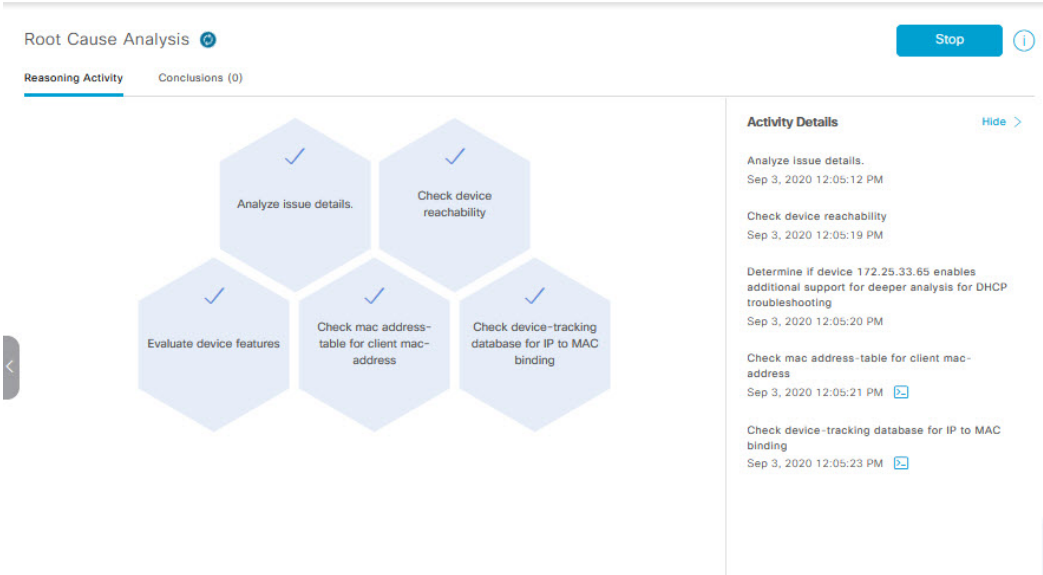
- SUPER-ADMIN-ROLE 権限を持つユーザーの場合は、検索ツールにクライアントの MAC アドレスを入力します。
- テーブルの [Identifier] 列で、ハイパーリンクされた識別子をクリックします。

クライアントの [Client 360] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** [Client 360] ウィンドウの [Issues] ダッシュレットで、認証または DHCP の問題をクリックします。

[Issue Details] ウィンドウに、次の情報が表示されます。

問題の詳細	
アイテム	説明
[Status] ドロップダウンリスト	<p>問題の現在のステータスが表示されます。このステータスは変更できます。次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。</li> <li>• 問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。</li> <li>2. スライダーで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
注アイコン (📎)	<p>管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📎) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。</p>
Summary	<p>問題の概要。デバイス、ロール、時間、場所、考えられる根本原因などの情報が含まれます。</p>

問題の詳細	
アイテム	説明
<b>Root Cause Analysis</b>	<p>機械推論エンジン（MRE）により、複雑な根本原因を分析して、是正措置を提案できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[Run Machine Reasoning] をクリックすると、MRE によるトラブルシューティングが開始されます。トラブルシューティングが完了すると、[Machine Reasoning Completed] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>このダイアログボックスで、[View Details] をクリックします。[Root Cause Analysis] エリアが表示されます。デフォルトでは [Conclusions] タブが開き、根本原因分析の詳細が表示されます。</li> <li>[Conclusions] エリアで [View Relevant Activities] をクリックすると、アクティビティの詳細が表示されます。</li> <li> アイコンをクリックして、このページの情報が役に立ったかどうかについてフィードバックを入力し、[Submit] をクリックしてください。</li> <li>[Reasoning Activity] タブをクリックすると、MRE がどのようにしてその結論に到達したのかがわかります。各推論アクティビティは、次の図に示すように、七角形のブロックで表示されます。各七角形ブロックをクリックすると、右側のペインにアクティビティの詳細が表示されます。</li> </ol> <p>実行中の推論アクティビティを停止するには、[Stop] をクリックします。</p> <p>(注)      チェックマークは、ステップが完了したことを示します。</p> <p><b>図 6: 推論アクティビティ</b></p>  <p>6. MRE を再実行する場合は、[Run Again] をクリックします。</p>

## 解決済みの問題の表示

次のカテゴリに分類される解決済みの問題をすべて表示するには、次の手順を実行します。

- しきい値ベースの問題：アシュアランスによって検出された問題。
- AI 駆動型の問題：Cisco AI Network Analyticsによって検出された問題。これらの問題は、特定のネットワーク環境の予測基準からの乖離度に基づいてトリガーされます。

### 始める前に

AI 駆動型の解決済みの問題を表示するには、Cisco AI Network Analytics データ収集が設定されていることを確認してください。Cisco AI Network Analytics の設定を参照してください。





**ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance]>[Issues and Events]の順に選択します。

[Open Issues] ダッシュボードが表示されます。

**ステップ 2** [Status] ドロップダウンリストから、[Resolve] を選択します。

[Resolved Issues] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [Resolved Issues] ウィンドウには、次の情報が表示されます。

[Resolved Issues] ウィンドウ	
アイテム	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上部のメニューバーで  Global をクリックして、サイト階層からサイト、建物、またはフロアを選択します。</li> <li>• ロケーションアイコンの横にある  をクリックし、[Site Details] を選択して [Sites] テーブルを表示します。</li> <li>• ドロップダウンリストから [Hierarchical Site View] または [Building View] を選択します。選択した項目に基づいて、テーブルが更新されます。</li> <li>• [Go to sites] 列でサイトまたは建物の  をクリックすると、そのロケーションのデータのみが [Resolved Issues] ダッシュボードに表示されます。</li> </ul>

[Resolved Issues] ウィンドウ	
アイテム	説明
[24 Hours] ドロップダウンリスト	<p>選択した時間範囲に基づく情報をウィンドウに表示できます。デフォルトは [24 Hours] です。次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[24 Hours] ドロップダウンリストで、時間範囲 ([3 hours]、[24 Hours]、または [7 days]) を選択します。</li> <li>[Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。</li> <li>[Apply] をクリックします。</li> </ol> <p>これにより、タイムラインの範囲が設定されます。</p>
タイムラインスライダ	より詳細な時間範囲を指定できます。時間範囲を指定するには、タイムライン境界線をクリックしてドラッグします。

ステップ 4 [All]、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかのタブをクリックすると、[Issue Type] テーブルにそのカテゴリの問題のリストが表示されます。

[Resolved Issue] ウィンドウの [Issue Type] 表	
アイテム	説明
[Total Resolved]	<p>解決済みの問題の合計数を示します。</p> <p>[Total Resolved] 値は、選択したタブに応じて変わります。[All] (デフォルト)、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかを選択できます。</p>
Priority	問題タイプの優先度レベル (事前割り当てされたもの)。
Issue Type	<p>問題のタイプ。</p> <p>(注) AI 駆動型の問題の場合、問題のタイプの前に  アイコンが表示されません。</p>
Device Role	問題が検出されたデバイスに割り当てられたロール。ロールは、[Access]、[Core]、[Distribution]、[Border Router]、または [Unknown] です。
Category	問題の種類が分類されるカテゴリ (接続、可用性、オンボード、使用状況など)。
Issue Count	この種類の問題が発生した回数。
Site Count (Area)	このタイプの問題が発生したサイトの数。
Device Count	このタイプの問題の影響を受けたデバイスの数。
Last Occurred Time	この問題が発生した最新の日付と時刻。

ステップ 5 [Issue type] テーブルで、問題のタイプをクリックします。

最初のスライドインペイン [Issue Instances] に、その問題タイプに関するすべての解決済み問題と、サイト、デバイス、デバイスタイプ、オカレンス、最後のオカレンスのタイムスタンプ、問題を更新したエンティティ名などの情報が表示されます。管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📝) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。

問題状況がなくなった場合、システムによる自動解決として処理され、[Updated By] 列には [System] と表示されます。[自動問題解決 \(28 ページ\)](#) を参照してください。

**ステップ 6** [Issue Instances] スライドインペインの [issue] 列で、問題をクリックします。

2 番目のスライドインペイン [Issue Instance Details] に、問題に関する詳細 (問題を解決したエンティティ名とタイムスタンプ) が表示されます。問題に応じて、説明と推奨されるアクションが表示されます。管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📝) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。

## 無視された問題の表示

無視されたとしてマークされているすべての問題を表示するには、次の手順を実行します。無視された問題は、次のカテゴリに分類されます。

- しきい値ベースの問題：アシュアランスによって検出された問題。
- AI 駆動型の問題：Cisco AI Network Analytics によって検出された問題。これらの問題は、特定のネットワーク環境の予測基準からの乖離度に基づいてトリガーされます。

### 始める前に

AI 駆動型の無視された問題を表示するには、Cisco AI Network Analytics データ収集が設定されていることを確認します。[Cisco AI Network Analytics の設定](#) を参照してください。

**ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance] > [Issues and Events] の順に選択します。






[Open Issues] ダッシュボードが表示されます。

**ステップ 2** [Status] ドロップダウンリストから、[Ignored] を選択します。


[Ignored Issues] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [Ignored Issues] ウィンドウには、次の情報が表示されます。



[Ignored Issues] ウィンドウ	
アイテム	説明
 Global	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部のメニューバーで  Global  をクリックして、サイト階層からサイト、建物、またはフロアを選択します。</li> <li>ロケーションアイコンの横にある  をクリックし、[Site Details] を選択して [Sites] テーブルを表示します。</li> <li>ドロップダウンリストから [Hierarchical Site View] または [Building View] を選択します。選択した項目に基づいて、テーブルが更新されます。</li> <li>[Go to sites] 列でサイトまたは建物の  をクリックすると、そのロケーションのデータのみが [Ignored Issues] ダッシュボードに表示されます。</li> </ul>
[24 Hours] ドロップダウンリスト	<p>選択した時間範囲に基づく情報をウィンドウに表示できます。デフォルトは [24 Hours] です。次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[24 Hours] ドロップダウンリストで、時間範囲 ([3 hours]、[24 Hours]、または [7 days]) を選択します。</li> <li>[Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。</li> <li>[Apply] をクリックします。 これにより、タイムラインの範囲が設定されます。</li> </ol>
タイムラインスライダ	より詳細な時間範囲を指定できます。時間範囲を指定するには、タイムライン境界線をクリックしてドラッグします。

ステップ 4 [All]、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかのタブをクリックすると、[Issue Type] テーブルにそのカテゴリの問題のリストが表示されます。

[Ignored Issues] ウィンドウの [Issue Type] 表	
アイテム	説明
<b>Total Ignored</b>	<p>無視された問題の合計数が表示されます。</p> <p>[Total Ignored] の値は、選択したタブに応じて変わります。[All] (デフォルト)、[P1]、[P2]、[P3]、[P4]、および [AI-Driven] のいずれかを選択できます。</p>
<b>Priority</b>	問題タイプの優先度レベル (事前割り当てされたもの)。
<b>Issue Type</b>	<p>問題のタイプ。</p> <p>(注) AI 駆動型の問題の場合、問題のタイプの前に  アイコンが表示されます。</p>

[Ignored Issues] ウィンドウの [Issue Type] 表	
アイテム	説明
<b>Device Role</b>	問題が検出されたデバイスに割り当てられたロール。ロールは、[Access]、[Core]、[Distribution]、[Border Router]、または [Unknown] です。
<b>Category</b>	問題の種類が分類されるカテゴリ（接続、可用性、オンボード、使用状況など）。
<b>Issue Count</b>	この種類の問題が発生した回数。
<b>Site Count (Area)</b>	このタイプの問題が発生したサイトの数。
<b>Device Count</b>	このタイプの問題の影響を受けたデバイスの数。
<b>Last Occurred Time</b>	この問題が発生した最新の日付と時刻。

ステップ 5 [Issue type] テーブルで、問題のタイプをクリックします。

最初のスライドインペイン [Issue Instances] に、その問題のタイプのすべての無視された問題と、サイト、デバイス、デバイスタイプ、オカレンス、最後のオカレンスのタイムスタンプなどの情報が表示されます。

ステップ 6 [Issue Instances] スライドインペインの [issue] 列で、問題をクリックします。

2 番目のスライドインペイン [Issue Instance Details] に、問題に関する詳細が表示されます。問題に応じて、説明と推奨されるアクションが表示されます。管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📝) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。

## 問題の解決または無視

次の手順により、問題の解決や無視を一括して、または個別に行うことができます。

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Assurance] > [Issues and Events] の順に選択します。

[Open Issues] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 2 複数の問題の解決や無視を一括して行うには、次の操作を実行します。

a) [Open Issues] ダッシュボードの [Issue Type] テーブルで、問題のタイプをクリックします。

最初のスライドインペイン [Issue Instances] が開き、その問題タイプに関するすべての未解決問題が一覧表示されます。このスライドインペインでは、問題の解決や無視を一括して行えます。管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📝) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。

b) 次のいずれかを実行します。

- 特定の問題を解決または無視するには、問題の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- 問題タイプのブラウザウィンドウに表示される未解決の問題をすべて解決または無視するには、[issue] 列の隣にあるチェックボックスをオンにします。ブラウザウィンドウに表示されるすべての問題が選択されます。
- 未解決の問題数が 25 を超えている場合（例：100）、最初の 25 件の問題がブラウザウィンドウに表示されます。未解決の問題をすべて選択するには、次の手順を実行します。

1. [Issue] 列の横にあるチェックボックスをオンにします。

最初の 25 件の問題が選択され、[Actions] ドロップダウンリストの横に [Select all number open issues] タブが表示されます。

2. [[Select all number open issues] をクリックすると、その問題タイプのすべての未解決問題（例：100 件すべての問題）が選択されます。

3. （オプション）ブラウザウィンドウで次の 25 件の問題を表示するには、ページの下部にある [Show More] をクリックします。次の 25 件の問題がブラウザウィンドウに追加され、表示される問題の数が 50 件に増えます。ブラウザウィンドウで次の 25 件の問題を表示するには、[Show More] をもう一度クリックします。

c) 問題を解決するには、[Actions] ドロップダウンリストで [Resolve] を選択します。

警告ダイアログボックスが表示されます。[Warning] ダイアログボックスで [Yes] をクリックして、アクションを続行します。

問題が解決されると、[View resolved issues] タブが表示されます。[View All Issues] をクリックすると、[Resolved Issues] ウィンドウが開きます。

d) 問題を無視するには、[Actions] ドロップダウンリストで [Ignore] を選択します。

スライダで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。

問題が無視されると、[View ignored issues] タブが表示されます。[View ignored issues] をクリックすると、[Ignored Issues] ウィンドウが開きます。

(注) 750 を超える問題を解決または無視しようとする、アクションが完了するまでに 1 分ほどかかる可能性があることを知らせる警告メッセージが表示されます。

**ステップ 3** 問題を個別に解決または無視するには、次の手順を実行します。

a) [Issue Instances] スライドインペイン（最初のスライドインペイン）の [issue] 列で、問題をクリックします。

2 番目のスライドインペイン [Issue Instance Details] が開き、問題に関する詳細が表示されます。この 2 番目のスライドインペインで、表示している問題を解決または無視できます。管理者ユーザーは、メモを追加、編集、削除できます。メモアイコン (📝) をクリックし、[Add] をクリックします。管理者以外のユーザーは、メモ情報のみを表示できます。

- b) 問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。
- c) 問題の報告を停止するには、次の手順を実行します。
1. [Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。
  2. スライダーで問題を無視する時間数を設定し、[Confirm] をクリックします。

## 無線にアクティビティなしの問題のトリガー

「無線にアクティビティなし」の問題は、次のすべての条件がデフォルトのトリガー時間である 60 分間にわたって満たされるとトリガーされます。



(注) デフォルトのトリガー時間を変更するには、**アシュアランス > [Manage] > [Issue Settings]** に移動します。[グローバルな問題の設定の管理 \(32 ページ\)](#) を参照してください。

- AP 無線動作状態は [up] である。
- AP モードはローカルまたは FlexConnect である。
- この無線でクライアント数が 0 である。
- RX データまたは管理フレーム数が増えていない。
- AP 無線チャンネルの使用率が 0 である。
- AP は分離された AP ではない。

## 自動問題解決

次の問題については、問題の状態が存在しなくなった場合、システムは自動的に問題を解決します。

問題の名称
ワイヤレスコントローラ/スイッチ/ルータが到達不能である。
スイッチファンの障害。
スイッチの電源の障害。
インターフェイスが停止した。
スタックメンバーの削除

問題の名称
スタックポートリンクに障害が発生した場合
ワイヤレスコントローラからのAPの切断。
無線でのアクティビティなし。

次の問題は、最後に発生してからの時間に基づいて自動的に解決されます。

問題の名称	自動解決までの時間
ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - BGP フラップ	24 時間
ネットワークデバイスでインターフェイスのフラッピングが発生	24 時間
ネットワークデバイスの HA スイッチオーバー	24 時間
WLC が予期せず再起動	24 時間
AP のリブートクラッシュ	24 時間
デバイス リブート	24 時間
AP 異常	24 時間
AP フラップ	24 時間
フロアでの RF (5 GHz) の低下	24 時間
RF (6 GHz) の低下	24 時間
フロアでの RF (2.4 GHz) の低下	24 時間
AP の高 CPU 使用率	24 時間
AP の高メモリ使用率	24 時間
WLC での AP ライセンス枯渇	24 時間
スイッチの高メモリ使用率	24 時間
デバイスの高メモリ使用率	24 時間
スイッチの高 CPU 使用率	24 時間
ルータの高 CPU 使用率	24 時間
スイッチインターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間

問題の名称	自動解決までの時間
スイッチインターフェイスの入出力エラー率が高い	24 時間
スイッチインターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
スイッチ WAN インターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
スイッチ WAN インターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
ルータインターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
ルータ WAN インターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
ルータインターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
ルータ WAN インターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
ルータ WAN インターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
ボーダーノードからトランジット コントロール プレーンノードへのファブリック BGPセッションがダウン	6 時間
ファブリック BGPセッションステータスがピアデバイスでダウン (VN 単位)	6 時間
ボーダーノードからコントロールプレーンノードへの BGPセッションがダウン	6 時間
ファブリックボーダーノードのインターネットが使用できない (VN 単位)	6 時間
ファブリックボーダーノードのリモートインターネットが使用できない (VN 単位)	6 時間
ファブリック AAA サーバステータス	6 時間
ファブリック LISP セッションステータスがコントロールプレーンノードへ	6 時間
ファブリック LISP PubSub セッションステータスがダウン (VN 単位)	6 時間
Cisco TrustSec 環境データがファブリックノードで完全ではない	6 時間

問題の名称	自動解決までの時間
ファブリック LISP エクストラネット ポリシーステータスがダウン	6 時間
サードパーティデバイスインターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
サードパーティデバイスインターフェイスの入出力エラー率が高い	24 時間
サードパーティデバイスインターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
サードパーティデバイス WAN インターフェイスの入出力使用率が高い	24 時間
サードパーティデバイス WAN インターフェイスの入出力破棄率が高い	24 時間
高 TCAM 使用率の問題	24 時間
ファブリックデバイスの接続 - ボーダーアンダーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - ボーダーオーバーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - マルチキャスト RP	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - コントロールアンダーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - コントロールボーダーアンダーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - AAA サーバー	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - DHCP オーバーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - DHCP アンダーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - DNS オーバーレイ	6 時間
ファブリックデバイスの接続 - DNS アンダーレイ	6 時間
ファブリック WLC と MapServer の接続性	6 時間
コントロールプレーンノードでのファブリック LISP セッションステータス	6 時間
ファブリック LISP PubSub セッションステータスがダウン	6 時間

問題の名称	自動解決までの時間
ファブリックボーダーノードのインターネットが使用できない	6 時間
ファブリックボーダーノードのリモートインターネットが使用できない	6 時間
ファブリック BGP セッションステータスがピアデバイスでダウン	6 時間

問題が自動的に解決したか、手動で解決されたかを表示できます。**[Issue Settings]** > の **[Global Profile]** ウィンドウ内にある **[Issue Resolution]** 列に、システムが解決した問題には **[Auto]** が、手動で解決する問題には **[Manual]** が表示されます。

問題が解決されると、**[Resolved Issues]** > **[Issue Instance]** slide-in pane の **[Updated By]** 列に **[System]** と表示されます。[解決済みの問題の表示 \(22 ページ\)](#) を参照してください。

## グローバルな問題の設定の管理

次の手順に従って、問題の設定を管理します。トリガー可能な特定の問題を有効または無効にする、問題の優先順位を変更する、問題がトリガーされるしきい値を変更する、トリガーされたときに問題を外部通知に登録するといった操作を実行できます。

**ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Assurance]** > **[Issue Settings]**。

**[Global Profile]** タブが選択された状態で **[Issue Settings]** ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 設定する問題のタイプを表示するには、**[DEVICE TYPE]** と **[CATEGORY]** フィルタを設定します。

AI 駆動型の問題を表示するには、**[CATEGORY]** フィルタの **[AI-Driven]** タブをクリックします。

**ステップ 3** **[Issue Name]** 列の問題をクリックすると、次の設定を含む slide-in pane が開きます。

(注) いくつかの問題については、設定に加えられた変更は複数のデバイスタイプで共有されます。slide-in pane で、情報アイコン (i) にカーソルを合わせると、影響を受けるデバイスタイプが表示されます。

- 問題がトリガー可能かどうかを有効または無効にするには、**[Enabled]** トグルをクリックします。
- 問題の優先順位を設定するには、**[Priority]** ドロップダウンリストをクリックし、優先順位を選択します。次のオプションがあります。
  - **[P1]** : ネットワーク運用に幅広い影響を与える可能性がある、早急な対応を必要とする重大な問題。
  - **[P2]** : 複数のデバイスまたはクライアントに影響を与える可能性がある重大な問題。
  - **[P3]** : 局所的または最小限の影響を与える軽微な問題。



- [P4] : ただちに問題になるものではないが、対処するとネットワークのパフォーマンスを最適化できる警告レベルの問題。
- c) (一部の問題のみ) [Trigger Condition] エリアで、問題が報告される条件のしきい値を変更できます。  
(注) 「無線にアクティビティなし」のトリガー条件については、[無線にアクティビティなしの問題のトリガー \(28 ページ\)](#) を参照してください。

トリガー条件の例 :

```
No Activity on Radio(2.4 GHz) >= 60 minutes.
```

```
アクセスポイントのメモリ使用率が 90% を超えた
```

- d) (任意) 設定に変更がある場合は、[View Default Settings] の上にカーソルを置くと、デフォルトの問題が表示されます。問題の設定をすべてデフォルト値に復元するには、[Use Default] をクリックします。
- e) [Apply] をクリックします。

**ステップ 4** (特定の問題について) [Manage Subscriptions] をクリックすると、サポートされている問題がトリガーされたときの外部通知に登録できます。[問題の通知の有効化 \(36 ページ\)](#) を参照してください。

## ユーザー定義問題の設定の管理

ユーザー定義問題の設定を管理するには、次の手順を使用します。ユーザー定義問題を作成する、トリガー可能な特定の問題を有効または無効にする、問題の優先順位を変更する、問題がトリガーされるしきい値を変更する、トリガーされたときに問題を外部通知に登録するという操作を実行できます。

**ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します : [Assurance] > [Issue Settings]。

[Global Profile] タブが選択された状態で [Issue Settings] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [User Defined] タブをクリックして、ユーザー定義問題のリストを表示します。

**ステップ 3** [Issue Name] 列の問題をクリックして、[Create an Issue] slide-in pane を開きます。

**ステップ 4** syslog の詳細に基づいてユーザー定義問題を設定するには、[Create an Issue] slide-in pane で次の手順を実行します。

- a) [Issue name] フィールドに、問題名を入力します。
- b) [Description] フィールドに、問題の説明を入力します。
- c) [Syslog Details] の [Severity] ドロップダウンリストから、0 ~ 6 の重大度を選択します。
- d) [Facility] フィールドに、施設名を入力します。
- e) [Mnemonic] フィールドにニーモニック名を入力し、[Next] をクリックします。

- f) [Message Pattern] フィールドに、syslog メッセージを入力します。メッセージパターンの下にある syslog メッセージをプレビューできます。
- g) [Occurrences] フィールドに、発生回数の値を入力します。
- h) [Duration] ドロップダウンリストで、問題の継続時間を選択します。
- i) 問題がトリガー可能かどうかを有効または無効にするには、[Enabled] トグルをクリックします。
- j) 問題の優先順位を設定するには、[Priority] ドロップダウンリストをクリックし、優先順位のレベルを選択します。
  - [P1]：ネットワーク運用に幅広い影響を与える可能性があり、早急な対応を必要とする重大な問題。
  - [P2]：複数のデバイスまたはクライアントに影響を与える可能性がある重大な問題。
  - [P3]：局所的または最小限の影響を与える軽微な問題。
  - [P4]：ただちに問題になるものではないが、対処するとネットワークのパフォーマンスを最適化できる警告レベルの問題。
- k) 問題の通知を有効または無効にするには、[Notification] トグルをクリックします。
- l) [Save] をクリックします。

**ステップ 5** 問題がトリガーされた場合の問題の外部通知に登録するには、[Manage Subscriptions] をクリックします。[問題の通知の有効化 \(36 ページ\)](#) を参照してください。次に示すように、ユーザー定義の問題通知イベントに対するサブスクリプションを作成します。

図 7: ユーザー定義の問題通知イベント

### Step 1 - Select Site and Events

Pick the site and events for your notification

Select a site ▼

🔍 user × 🗑

1 Selected

<input checked="" type="checkbox"/> Event Name ▾	Channels Supported
<input checked="" type="checkbox"/> User Defined Issue Notification	REST SYSLOG EMAIL WEBEX PAGERDUTY

## カスタム問題の設定の管理

特定のサイトまたはサイトのグループ用にカスタムの問題設定を作成できます。これらの設定はアシュアランスのネットワークプロファイルと呼ばれ、アシュアランスと Cisco DNA Center の両方から管理できます。

アシュアランスのネットワークプロファイルを作成することで、監視する問題の設定を制御したり、問題の優先度を変更したりできます。

注：

- ネットワークデバイスの正常性スコアへの同期は、グローバルな問題設定に対してのみ使用できます。カスタムの問題設定では使用できません。詳細については、[デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング](#)を参照してください。
- 一部のグローバルな問題はカスタマイズできません。これらの問題は、変更するカスタム問題のリストには表示されません。
- 変更された問題をリストの一番上に表示するには、[Last Modified] でソートします。
- カスタム設定を削除するには、最初にすべてのサイトの割り当てを解除する必要があります。

- 
- ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Assurance] > [Issue Settings]**。  
[Global Profile] タブが選択された状態で [Issue Settings] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Custom Profile] タブをクリックします。
- ステップ 3** [+Add a Profile] をクリックします。
- ステップ 4** [Profile Name] フィールドに有効なプロファイルの名前を入力し、[Next] をクリックします。  
Cisco DNA Center によってプロファイルが追加され、プロファイルテーブルにプロファイル名、サイト、およびアクションが表示されます。
- ステップ 5** サイトにプロファイルを割り当てるには、[Sites] 列名の [Assign Sites] をクリックして、[Add Sites to Profile] slide-in paneを開きます。このプロファイルに関連付けるサイトの横にあるチェックボックスをオンにし、[Save] をクリックします。  
[Edit Profile] ウィンドウが表示されます。
- (注) 親ノードまたは個々のサイトを選択できます。親ノードを選択すると、その親ノードに属する子もすべて選択されます。チェックボックスをオフにして、サイトの選択を解除できます。
- ステップ 6** 設定する問題のタイプを表示するには、[DEVICE TYPE] と [CATEGORY] フィルタを設定します。
- ステップ 7** [User Defined] タブをクリックして、ユーザー定義問題のリストを表示します。
- ステップ 8** [Issue Name] 列の問題をクリックすると、設定を含むslide-in paneが開きます。
- (注) いくつかの問題については、設定に加えられた変更は複数のデバイスタイプで共有されます。slide-in paneでは、影響を受けるデバイスタイプを示す注意が Cisco DNA Center によって表示されます。
- ステップ 9** この問題の Cisco DNA Center によるモニターリングを有効または無効にするには、[Enabled] トグルボタンをクリックします。

- ステップ 10** 問題の優先順位を設定するには、[Priority] ドロップダウンリストをクリックし、優先順位を選択します。次のオプションがあります。
- [P1] : ネットワーク運用に幅広い影響を与える可能性がある、早急な対応を必要とする重大な問題。
  - [P2] : 複数のデバイスまたはクライアントに影響を与える可能性がある重大な問題。
  - [P3] : 局所的または最小限の影響を与える軽微な問題。
  - [P4] : ただちに問題になるものではないが、対処するとネットワークのパフォーマンスを最適化できる警告レベルの問題。
- ステップ 11** (一部の問題のみ) [Trigger Condition] エリアで、問題が報告される条件のしきい値を変更できます。トリガー条件の例 :
- ```
No Activity on Radio(2.4 GHz) >= 60 minutes.  
Memory Utilization of Access Points greater than 90%
```
- ステップ 12** (任意) 設定に変更がある場合は、[View Default Settings] の上にカーソルを置くと、デフォルトの設定が表示されます。問題の設定をすべてデフォルト値に復元するには、[Use Default] をクリックします。
- ステップ 13** [Apply] をクリックします。
- ステップ 14** (特定の問題について) [Manage Subscriptions] をクリックすると、サポートされている問題がトリガーされたときの外部通知に登録できます。
- ステップ 15** ユーザー定義の問題を編集するには、問題の syslog メッセージで [Edit] をクリックし、[Save] をクリックします。
- ステップ 16** [Done] をクリックします。  
新しく追加されたプロファイルは、[Issue Settings] ウィンドウの [Custom Profile] タブに表示されます。

## 問題の通知の有効化

アシュアランスで特定の問題がトリガーされたときに外部通知を受信するには、次の手順を実行します。問題がトリガーされてステータスが変わると、アシュアランスは、REST または電子メール通知を生成できます。

- ステップ 1** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します : [Assurance] > [Issue Settings]。  
[Issue Settings] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Manage Subscription] をクリックします。  
[Platform] > [Developer Toolkit] > [Event Notifications] ウィンドウが表示されます。  
各通知はタイルで表され、通知の詳細を表示するためのリンクが含まれています。

**ステップ3** 左側のペインの [CHANNELS] エリアで、それぞれの通知タイルを表示するチャンネルの横にあるオプションボタンをクリックします。

サポートされているチャンネルは、[REST]、[PAGERDUTY]、[SNMP]、[SYSLOG]、[WEBEX]、[EMAIL] です。アシュアランス イベントでは、SNMP はサポートされません。

- (注)
- それぞれのチャンネルでイベントの通知を作成し、通知をトリガーする必要があります。詳細については、[Cisco DNA Center ユーザガイド](#)の「**イベント通知の作成**」を参照してください。
  - 1つのイベント通知で複数のチャンネルがサポートされます。

**ステップ4** 通知の詳細を表示する通知タイルリンクをクリックします。

[Notification Details] スライドインペインには、選択したチャンネルに基づいて次の通知の詳細が表示されます。

- [Name] : イベントの名前。
- [Description] : イベントの説明
- [Sites]
- [Event]
- [REST] : REST 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。[REST] エリアには、次の情報が表示されます。
  - [URL] : イベントが送信される REST API エンドポイントの URL アドレス。
  - [Method] : PUT メソッドまたは POST メソッド。
  - [Trust certificate] : REST API エンドポイント通知に信頼できる証明書が必要かどうか。
  - [Headers] : [Header Name] と [Header Value]。
- [PAGERDUTY] : PAGERDUTY 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。[PAGERDUTY] エリアには、次の情報が表示されます。
  - [PagerDuty Events API URL]
  - [PagerDuty Integration Key]
  - [PagerDuty Events API Version]
- [SNMP] : [SNMP] 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。
- [SYSLOG] : [SYSLOG] 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。
- [WEBEX] : [WEBEX] 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。
- [EMAIL] : [EMAIL] 通知の詳細を表示する場合にのみ表示されます。[EMAIL] エリアには、E メール受信者の [From] と [To] と E メールの [Subject] が表示されます。

**ステップ 5** [Notification Details] slide-in paneで、右上隅にあるトグルボタンをクリックして、それぞれの通知を有効または無効にします。

**ステップ 6** 特定の通知を編集するには、[Actions] ドロップダウンリストをクリックし、[Edit] を選択します。

**ステップ 7** [EDIT NOTIFICATION] ウィンドウで、選択したチャンネルに基づいて以下を設定します。

1. [Name] フィールドに一意の名前を入力します。
2. [Description] フィールドに、それぞれのイベントの説明を入力します。
3. [Site and Events] を展開し、[Select a site] ドロップダウンリストからサイトを選択します。
4. イベントの横にあるプラスアイコンをクリックするか、[Add All] をクリックしてすべてのイベントをそれぞれの通知に追加します。
5. 通知からイベントを削除するには、削除するイベントの横にあるプラスアイコンをクリックするか、[Remove All] をクリックして、それぞれの通知からすべてのイベントを削除します。
6. [Configuration] を展開して、選択した通知チャンネルの構成を編集します。

[Configuration] エリアで詳細を指定するには、『Cisco DNA Center ユーザガイド』の「**Create an Event Notification**」を参照してください。

(注) [Configuration] エリアに表示されるフィールドは、選択した通知チャンネルのタイプによって異なります。

**ステップ 8** 右上隅にあるトグルボタンをクリックして、タイルビューとリストビューを切り替えます。

**ステップ 9** [Event Catalog] タブをクリックして、作成されたイベントのリストを表示します。

(注) [Search] フィールドにキーワードを入力することで表示されるイベントを調整できます。

**ステップ 10** テーブル内の個々のイベントのデータを確認します。

[Event Details] タブに表示されるデータは次のとおりです。

- [Description] : イベントとそれを発生させるトリガーの簡単な説明。
- [Event ID] : イベントの識別番号。
- [Version] : イベントのバージョン番号。
- [Namespace] : イベントの名前空間。
- [Severity] : 1 ~ 5。

(注) シビラティ (重大度) 1 は最も重要または重大な優先度であり、このタイプのイベントに割り当てる必要があります。

- [Domain] : イベントが属する REST API ドメイン。
- [Subdomain] : イベントが属する REST API ドメインの配下のサブグループ。
- [Category] : エラー、警告、情報、アラート、タスクの進捗状況、タスクの完了。

- [Note] : イベントの理解に役立つ追加情報。
- [Event Link] : REST URL を使用したイベントブロードキャスト。
- [Tags] : イベントの影響を受ける Cisco DNA Center のコンポーネントを示すタグ。
- [Channels] : イベント通知でサポートされているチャンネル (REST API、電子メール、Webex など)。
- [Model Schema] : イベントに関するモデルスキーマが提示されます。
  - [Details] : イベントのモデルスキーマの詳細の例。
  - [REST Schema] : イベントの REST スキーマのフォーマット。

ステップ 11 [Notifications] タブをクリックして、それぞれのイベントに関連付けられたアクティブな通知を表示します。

## アシュアランス、Cisco AI Network Analytics、および MRE の問題

### ルータの問題

アシュアランス で検出されるルータの問題を次の表に示します。

| ルータの問題 |                                  |                                                               |
|--------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| カテゴリ   | 問題の名称                            | [Summary]                                                     |
| 接続性    | BGP トンネル接続                       | 自律システム (AS) 番号が間違っているため、ピアとのボーダーゲートウェイ プロトコル (BGP) 接続に失敗しました。 |
| 接続性    | ネットワークデバイスを接続しているインターフェイスでダウン発生  | ネットワークデバイスに接続しているインターフェイスがダウンしています。                           |
| 接続性    | レイヤ 2 のループ症状                     | ネットワークデバイスでホスト MAC アドレスのフラッピングが見られます。                         |
| 接続性    | ネットワークデバイスインターフェイスの接続 - BGP フラップ | ネイバーとのボーダーゲートウェイ プロトコル (BGP) 接続がフラッピングしています。                  |
| 接続性    | ネットワークデバイスのインターフェイスの接続 - BGP ダウン | ネイバーとの BGP 接続がダウンしています。                                       |

| ルータの問題    |                                         |                                                                                          |
|-----------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ      | 問題の名称                                   | [Summary]                                                                                |
| 接続性       | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - EIGRP 隣接関係の障害 | ネイバーとの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) 隣接関係に障害が発生しました。                |
| 接続性       | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - インターフェイスダウン   | デバイス上のインターフェイスがダウンしています。                                                                 |
| 接続性       | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - ISIS 隣接関係の障害  | デバイスで Intermediate System Intermediate System (ISIS) の隣接関係に障害が発生しました。                    |
| 接続性       | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - OSPF 隣接関係の障害  | ネイバーとの Open Shortest Path First (OSPF) 隣接関係に障害が発生しました。                                   |
| 接続        | WAN インターフェイスダウン                         | WAN インターフェイスがダウンしています。                                                                   |
| 接続されている状態 | SGT のアクセスポリシーのインストールに失敗                 | セキュリティグループタグ (SGT) のセキュリティグループアクセスコントロールリスト (SGACL) アクセスポリシーのインストールに失敗しました。              |
| 接続されている状態 | ルータ インターフェイスの入出力エラー率が高い                 | ルータ インターフェイスで、高い入出力エラー率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。                                         |
| 接続されている状態 | ルータ インターフェイスの入出力破棄率が高い                  | ルータ インターフェイスで、高い入出力廃棄率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。                                          |
| 接続されている状態 | ルータ インターフェイスの入力/出力使用率が高い                | ルータ インターフェイスで、高い入出力エラー率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。                                         |
| 接続されている状態 | ルータ WAN インターフェイスの入出力破棄率が高い              | ルータの WAN インターフェイスで、高い入出力廃棄率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。                                     |
| 接続されている状態 | ルータ WAN インターフェイスの入力/出力使用率が高い            | WAN インターフェイスの入出力使用率が高くなっています。<br>ルータの WAN インターフェイスで、高い入出力エラー率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。   |
| 接続されている状態 | デバイスで SGT アクセスポリシーのダウンロードに失敗            | セキュリティグループタグ (SGT) のセキュリティグループアクセスコントロールリスト (SGACL) アクセスコントロールエントリ (ACE) のダウンロードに失敗しました。 |



| ルータの問題    |                                  |                                                                                              |
|-----------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ      | 問題の名称                            | [Summary]                                                                                    |
| 接続されている状態 | デバイスでSGTアクセスポリシーのインストールに失敗       | セキュリティグループタグ (SGT) のアクセスポリシーのインストールに失敗しました。ロールベースのアクセスコントロールリスト (RBACL) でポリシールールエラーが見つかりました。 |
| 接続されている状態 | ポリシーサーバーからSGTアクセスポリシーをダウンロードできない | セキュリティグループタグ (SGT) のアクセスポリシーのソースリストをダウンロードできませんでした。                                          |
| 接続されている状態 | デバイスでSGTアクセスポリシーのアンインストールに失敗     | セキュリティグループタグ (SGT) のセキュリティグループアクセスコントロールリスト (SGACL) アクセスポリシーのアンインストールに失敗しました。                |
| デバイス      | DNA Centerとネットワークデバイスの時間差        | Cisco DNA Center とデバイス間に過剰なタイムラグがあります。                                                       |
| デバイス      | syslog イベントに基づく問題 - 高温           | 高温に関連する syslog イベントの単一オカレンスによって作成された問題。                                                      |
| デバイス      | ルータの高 CPU 使用率                    | ルータの CPU 使用率が高くなっています。しきい値はカスタマイズできます。                                                       |
| デバイス      | ルータの高メモリ使用率                      | ルータのメモリ使用率が高くなっています。しきい値はカスタマイズできます。                                                         |
| 可用性       | ネットワークデバイスの HA スイッチオーバー          | ネットワークデバイスで高可用性 (HA) スイッチオーバーが発生しました。                                                        |
| 可用性       | ルータ到達不能                          | ルータは、Cisco DNA Center から ICMP または SNMP を介して到達できません。                                          |

## コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題

アシュアランスによって検出されるコア層、ディストリビューション層、およびアクセス層の問題を次の表に示します。

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |            |                                             |
|---------------------------------|------------|---------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称      | [Summary]                                   |
| 接続性                             | BGP トンネル接続 | 自律システム (AS) 番号が間違っているため、ピアとの BGP 接続に失敗しました。 |

■ コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |                                         |                                                                           |
|---------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称                                   | [Summary]                                                                 |
| 接続性                             | ネットワークデバイスを接続しているインターフェイスでダウン発生         | ネットワークデバイスに接続しているインターフェイスがダウンしています。                                       |
| 接続性                             | レイヤ2のループ症状                              | ネットワークデバイスでホストMACアドレスのフラッピングが見られます。                                       |
| 接続性                             | ネットワークデバイスのインターフェイスの接続 - BGP ダウン        | ネイバーとの BGP 接続がダウンしています。                                                   |
| 接続性                             | ネットワークデバイスインターフェイスの接続 - BGP フラップ        | ネイバーとの BGP 接続がフラッピングしています。                                                |
| 接続性                             | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - EIGRP 隣接関係の障害 | ネイバーとの EIGRP (Enhanced Interior Gateway Routing Protocol) 隣接関係に障害が発生しました。 |
| 接続性                             | ネットワークデバイスインターフェイスの接続 - インターフェイスダウン     | デバイス上のインターフェイスがダウンしています。                                                  |
| 接続性                             | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - ISIS 隣接関係の障害  | デバイスで Intermediate System Intermediate System (IS-IS) の隣接関係に障害が発生しました。    |
| 接続性                             | ネットワーク デバイス インターフェイスの接続 - OSPF 隣接関係の障害  | ネイバーとの Open Shortest Path First (OSPF) 隣接関係に障害が発生しました。                    |
| 接続                              | WAN インターフェイスダウン                         | WAN インターフェイスがダウンしています。                                                    |
| 接続性                             | ネットワークデバイスでデュアルアクティブ検出リンクに障害発生          | ネットワークデバイス <i>Switch Name</i> でデュアルアクティブ検出リンクに障害が発生しました。                  |
| 接続性                             | ネットワークデバイスで StackWise Virtual リンクに障害発生  | ネットワークデバイスの <i>Switch Name</i> で StackWise Virtual リンクに障害が発生しました。         |
| 接続                              | ネットワークデバイスで StackWise リンクに障害発生          | ネットワークデバイス <i>Switch Name</i> で StackWise リンクに障害が発生しました。                  |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - ボーダーオーバーレイ              | ファブリックエッジが仮想ネットワーク内のファブリックボーダーへの接続を失いました。                                 |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - ボーダーアンダーレイ              | ファブリックエッジが物理ネットワーク内のファブリックボーダーへの接続を失いました。                                 |

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |                                          |                                                                 |
|---------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称                                    | [Summary]                                                       |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - コントロールボーダーアンダーレイ         | ファブリックノードが、物理ネットワーク内の同じ場所に配置されたファブリックボーダーとコントロールプレーンへの接続を失いました。 |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - コントロールアンダーレイ             | ファブリックノードが、物理ネットワーク内のファブリック コントロールプレーン デバイスへの接続を失いました。          |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - DHCP オーバーレイ              | ファブリックノードが仮想ネットワーク内の DHCP サーバーへの接続を失いました。                       |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - DHCP アンダーレイ              | ファブリックノードが物理ネットワーク内の DHCP サーバーへの接続を失いました。                       |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - DNS オーバーレイ               | ファブリックノードが仮想ネットワーク内の DNS サーバーへの接続を失いました。                        |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - DNS アンダーレイ               | ファブリックノードが物理ネットワーク内の DNS サーバーへの接続を失いました。                        |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - 外部 URL                   | ユーザーがプロビジョニングした外部 URL にファブリックボーダーが到達できません。                      |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - ISE サーバー                 | ファブリックエッジが物理ネットワーク内の ISE サーバーへの接続を失いました。                        |
| 接続されている状態                       | ファブリック WLC と MapServer の接続性              | ファブリック ワイヤレスコントローラ でファブリック コントロールプレーン ノードへの接続が失われました。           |
| 接続されている状態                       | ファブリックとポートチャネルの接続性                       | ポートチャネルに接続しているファブリックノードがダウンしています。                               |
| 接続されている状態                       | ファブリック AAA サーバステータス                      | ファブリックノードの AAA サーバステータスがダウンしています。                               |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - マルチキャスト RP               | ファブリックボーダーノードは、マルチキャストランデブーポイント (RP) への接続を失いました。                |
| 接続されている状態                       | ファブリック コントロールプレーンとの BGP セッションの状態         | BGP セッションは、ファブリック サイトのコントロールプレーンとの境界でダウンしています。                  |
| 接続されている状態                       | Fabric Control Plane - LISP セッションの状態     | コントロールプレーンノードへの LISP セッションがダウンしています。                            |
| 接続されている状態                       | Fabric Devices Connectivity - インターネットの接続 | コントロールプレーンノードのデフォルトルートが失われたため、インターネットは使用できません。                  |

## コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |                                                |                                                           |
|---------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称                                          | [Summary]                                                 |
| 接続されている状態                       | ファブリックエクストラネットポリシー ステータス                       | ファブリックエクストラネットポリシーのステータスがダウンしています。                        |
| 接続されている状態                       | Fabric Control Plane - LISP Pub/Sub セッションステータス | コントロールプレーンノードへの LISP Pub/Sub セッションがダウンしています。              |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - AAA サーバー                       | ファブリックエッジノードが物理ネットワーク内の AAA サーバーへの接続を失いました。               |
| 接続されている状態                       | Fabric Devices Connectivity - リモートインターネット接続    | コントロールプレーンノードのリモートインターネットへの接続が失われました。                     |
| 接続されている状態                       | ピア デバイスへの BGP セッションステータス                       | BGPセッションは、サイトの IP トランジットピアとの境界でダウンしています。                  |
| 接続されている状態                       | トランジットコントロールプレーンへの BGP セッションステータス              | BGPセッションは、SD-Access トランジットに接続された境界でダウンしています。              |
| 接続されている状態                       | ファブリックデバイスの接続 - アンカーされたボーダー                    | ファブリックボーダーノードが、物理ネットワーク内のファブリックのアンカーされたボーダーノードへの接続を失いました。 |
| 接続されている状態                       | SGT のアクセスポリシーのインストールに失敗                        | SGT の SGACL アクセスポリシーのインストールに失敗しました。                       |
| 接続されている状態                       | スイッチインターフェイスの入出力エラー率が高い                        | スイッチインターフェイスで、高い入出力エラー率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。          |
| 接続されている状態                       | スイッチインターフェイスの入出力破棄率が高い                         | スイッチインターフェイスで高い入出力廃棄率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。            |
| 接続されている状態                       | スイッチインターフェイスの入出力使用率が高い                         | スイッチインターフェイスで、高い入出力エラー率が検出されました。しきい値はカスタマイズできます。          |
| 接続されている状態                       | デバイスで SGT アクセスポリシーのダウンロードに失敗                   | SGT の SGACL ACE のダウンロードに失敗しました。                           |
| 接続されている状態                       | デバイスで SGT アクセスポリシーのインストールに失敗                   | SGT のアクセスポリシーのインストールに失敗しました。RBACL でポリシー規則エラーが検出されました。     |
| 接続されている状態                       | ポリシーサーバーから SGT アクセスポリシーをダウンロードできない             | SGT のアクセスポリシーのソースリストをダウンロードできませんでした。                      |
| 接続されている状態                       | デバイスで SGT アクセスポリシーのアンインストールに失敗                 | SGT の SGACL アクセス ポリシーのアンインストールに失敗しました。                    |

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |                               |                                                                                                         |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称                         | [Summary]                                                                                               |
| デバイス                            | デバイスリブートクラッシュ                 | ハードウェアまたはソフトウェアのクラッシュによりデバイスがリブートしました。                                                                  |
| デバイス                            | デバイス時間のずれ Cisco DNA Center    | Cisco DNA Center とデバイスネットワーク間に過剰なタイムラグがあります。                                                            |
| デバイス                            | ネットワークデバイスでインターフェイスのフラッピングが発生 | ポートインターフェイスがスイッチでフラッピングしています。デフォルトでは、この問題はインターフェイスが 30 分以内に 3 回以上フラップするとトリガーされます。デフォルトのフラップトリガーを変更できます。 |
| デバイス                            | syslog イベントに基づく問題 - 高温        | 高温に関連する syslog イベントの単一オカレンスによって作成された問題。                                                                 |
| デバイス                            | syslog イベントに基づく問題 - POE       | 電源に関連する syslog イベントの単一オカレンスによって作成された問題。                                                                 |
| デバイス                            | PoE ポートがエラー状態                 | PoE ポートがエラーにより無効になっていることが syslog イベントで報告されました。                                                          |
| デバイス                            | PoE 受電デバイスに障害フラグあり            | PoE ポートに接続された PoE 対応デバイスに障害フラグが設定されていることが syslog イベントで報告されました。                                          |
| デバイス                            | PoE 受電デバイスへの電力供給拒否            | PoE ポートに接続された PoE 対応デバイスへの電力供給が拒否されたことが syslog イベントで報告されました。                                            |
| デバイス                            | スタックメンバーの削除                   | スタックメンバーが削除されました。                                                                                       |
| デバイス                            | スタックメンバーが互換性のないイメージを実行        | スタックメンバーが互換性のないイメージを実行しています。                                                                            |
| デバイス                            | スイッチの高 CPU 使用率                | スイッチの CPU 使用率が高くなっています。しきい値はカスタマイズできます。                                                                 |
| デバイス                            | スイッチの高メモリ使用率                  | スイッチのメモリ使用率が高くなっています。しきい値はカスタマイズできます。                                                                   |
| デバイス                            | スイッチファンの障害                    | スイッチのファンに障害が発生しました。                                                                                     |
| デバイス                            | スイッチの電源障害                     | スイッチの電源に障害が発生しました。                                                                                      |
| デバイス                            | 高 TCAM 使用率の問題                 | レイヤ 2、レイヤ 3、QoS、および SGACL での TCAM 枯渇の問題。                                                                |
| 可用性                             | ネットワークデバイスの HA スイッチオーバー       | ネットワークデバイスで HA スイッチオーバーが発生しました。                                                                         |

| コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 |                 |                                                     |
|---------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------|
| カテゴリ                            | 問題の名称           | [Summary]                                           |
| 可用性                             | スイッチ到達不能        | スイッチは、ICMP または SNMP を介して Cisco DNA Center に到達できません。 |
| 使用率<br>(Utilization)            | マップキャッシュの上限に達した | マップキャッシュエントリがマップサーバーの上限を超えました。                      |

## サードパーティデバイスの問題

次の表に、アシュアランス で検出されるサードパーティ製デバイスの問題を示します。

| サードパーティデバイスの問題 |                                      |                                                             |
|----------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| Category       | 問題の名称                                | [Summary]                                                   |
| 可用性            | サードパーティ製デバイスに到達できない                  | Cisco DNA Center から ICMP または SNMP 経由でサードパーティ製デバイスに到達できません。  |
| 接続             | サードパーティ製デバイスインターフェイスの入出力エラー率が高い      | サードパーティ製デバイスインターフェイスで高い入出力エラー率が検出されます。しきい値はカスタマイズできます。      |
| 接続されている状態      | サードパーティ製デバイスインターフェイスの入出力破棄率が高い       | サードパーティ製デバイスインターフェイスで高い入出力破棄率が検出されます。しきい値がカスタマイズされています。     |
| 接続             | サードパーティ製デバイスインターフェイスの入出力使用率が高い       | サードパーティ製デバイスインターフェイスで高い入出力使用率が検出されます。しきい値はカスタマイズできます。       |
| 接続されている状態      | サードパーティ製デバイスの WAN インターフェイスの入出力破棄率が高い | サードパーティ製デバイスの WAN インターフェイスで高い入出力破棄率が検出されます。しきい値はカスタマイズできます。 |
| 接続されている状態      | サードパーティ製デバイスの WAN インターフェイスの入出力使用率が高い | サードパーティ製デバイスの WAN インターフェイスで高い入出力使用率が検出されます。しきい値はカスタマイズできます。 |

## コントローラの問題

アシュアランスによって検出されるコントローラの問題を次の表に示します。

| コントローラの問題         |                                 |                                                             |
|-------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| カテゴリ              | 問題の名称                           | [Summary]                                                   |
| 接続性               | ネットワークデバイスを接続しているインターフェイスでダウン発生 | ネットワークデバイスに接続しているインターフェイスがダウンしています。                         |
| 接続されている状態         | ファブリック WLC と MapServer の接続性     | ファブリック ワイヤレスコントローラ でファブリック コントロールプレーン ノードへの接続が失われました。       |
| デバイス              | デバイス時間のずれ Cisco DNA Center      | Cisco DNA Center とネットワークデバイス間に過剰なタイムラグがあります。                |
| 可用性               | ネットワークデバイスの HA スイッチオーバー         | ネットワークデバイスで HA スイッチオーバーが発生しました。                             |
| 可用性               | WLC モニター                        | ネットワークコントローラがワイヤレスコントローラからデータを受信していません。                     |
| 可用性               | WLC 電源の障害                       | このワイヤレスコントローラで電源が故障しました。                                    |
| 可用性               | WLC のリブートクラッシュ                  | ワイヤレスコントローラの再起動クラッシュが発生しました。                                |
| 可用性               | WLC 到達不能                        | ワイヤレスコントローラは、Cisco DNA Center から ICMP または SNMP を介して到達できません。 |
| 使用率 (Utilization) | WLC での AP ライセンス枯渇               | ワイヤレスコントローラ には現在、空いている AP ライセンスはありません。                      |
| 使用率 (Utilization) | WLC 高メモリ使用率                     | ワイヤレスコントローラのメモリ使用率が高くなっています。                                |

## アクセスポイントの問題

アシュアランスによって検出されるアクセスポイントの問題を次の表に示します。

| アクセスポイントの問題 |              |                                          |
|-------------|--------------|------------------------------------------|
| カテゴリ        | 問題の名称        | [Summary]                                |
| 可用性         | AP のカバレッジホール | ワイヤレス LAN コントローラが AP 周辺のカバレッジホールを検出しました。 |

| アクセスポイントの問題          |                         |                                                                                                                          |
|----------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ                 | 問題の名称                   | [Summary]                                                                                                                |
| 可用性                  | Cisco WLC からの AP の切断    | AP がワイヤレス LAN コントローラから切断されます。ワイヤレス LAN コントローラへの AP の CAPWAP リンクがダウンしています。                                                |
| 可用性                  | AP のフラッピング              | AP でフラッピングが発生しています。AP がワイヤレス LAN コントローラから切断され、ワイヤレス LAN コントローラに再び接続しました。<br><br>この問題は AP が 15 分以内に 2 回以上フラップするとトリガーされます。 |
| 可用性                  | AP のリブートクラッシュ           | ハードウェアまたはソフトウェアのクラッシュにより AP がリブートしました。                                                                                   |
| 使用率<br>(Utilization) | AP の高 CPU 使用率           | AP で CPU 使用率が高くなっています。                                                                                                   |
| 使用率<br>(Utilization) | AP の高メモリ使用率             | AP のメモリ使用率が高くなっています。                                                                                                     |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線の高使用率 (2.4 GHz)       | AP の 2.4 GHz 無線の使用率が高くなっています。                                                                                            |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線の高使用率 (5 GHz)         | AP の 5 GHz 無線の使用率が高くなっています。                                                                                              |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線の高使用率 (6 GHz)         | AP の 6 GHz 無線の使用率が高くなっています。                                                                                              |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線でのアクティビティなし (2.4 GHz) | AP の 2.4 GHz 無線でアクティビティがありません。                                                                                           |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線でのアクティビティなし (5 GHz)   | AP の 5 GHz 無線でアクティビティがありません。                                                                                             |
| 使用率<br>(Utilization) | 無線でのアクティビティなし (6GHz)    | AP の 6 GHz 無線でアクティビティがありません。                                                                                             |
| AP 異常                | AP 異常                   | AP で異常が発生しました。                                                                                                           |
| 可用性                  | フロアでの RF (2.4 GHz) の低下  | この問題は、AP のワイヤレスエクスペリエンスが低い場合に発生します。RF の低下の問題は、少なくとも 1 つの AP の干渉またはノイズが、30 分以内にしきい値を超えた場合に発生します。                          |



| アクセスポイントの問題 |                      |                                                                                                 |
|-------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ        | 問題の名称                | [Summary]                                                                                       |
| 可用性         | フロアでの RF (5 GHz) の低下 | この問題は、AP のワイヤレスエクスペリエンスが低い場合に発生します。RF の低下の問題は、少なくとも 1 つの AP の干渉またはノイズが、30 分以内にしきい値を超えた場合に発生します。 |
| 可用性         | フロアでの RF (6 GHz) の低下 | この問題は、AP のワイヤレスエクスペリエンスが低い場合に発生します。RF の低下の問題は、少なくとも 1 つの AP の干渉またはノイズが、30 分以内にしきい値を超えた場合に発生します。 |
| 可用性         | 無線ダウン (2.4GHz)       | AP で 2.4 GHz 無線がダウンしています。                                                                       |
| 可用性         | 無線ダウン (5GHz)         | AP で 5 GHz 無線がダウンしています。                                                                         |
| 可用性         | 無線ダウン (6GHz)         | AP で 6 GHz 無線がダウンしています。                                                                         |

## 有線クライアントの問題

アシュアランスによって検出される有線クライアントの問題を次の表に示します。

| 有線クライアントの問題 |                            |                                                                              |
|-------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ        | 問題の名称                      | [Summary]                                                                    |
| オンボーディング    | クライアントの DHCP 到達可能性の問題      | クライアントが DHCP サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。                                      |
| オンボーディング    | クライアントの DNS 到達可能性の問題       | クライアントが DNS サーバーから応答を取得できませんでした。                                             |
| オンボーディング    | 有線クライアント認証エラー - Dot1.x エラー | Dot1.x の問題が原因で、有線クライアントの認証に失敗しました。<br><br>(注) この問題は、単独の有線クライアントにのみ適用されます。    |
| オンボーディング    | 有線クライアント認証エラー - MAB エラー    | MAC 認証バイパスの問題が原因で、有線クライアントの認証に失敗しました。<br><br>(注) この問題は、単独の有線クライアントにのみ適用されます。 |

## ワイヤレスクライアントの問題

アシュアランスによって検出されるワイヤレスクライアントの問題を次の表に示します。

## ワイヤレスクライアントの問題



(注) この問題は、単独のクライアントと複数のクライアントの両方に適用されます。

| ワイヤレスクライアントの問題 |                                            |                                                                                               |
|----------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ           | 問題の名称                                      | [Summary]                                                                                     |
| オンボーディング       | 802.11rクライアントの低速ローミング                      | 高速ローミングが可能なワイヤレスクライアントが、ローミング中に高速認証ではなくフル認証を実行しています。                                          |
| オンボーディング       | クライアントの DHCP 到達可能性の問題                      | クライアントが DHCP サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。                                                       |
| オンボーディング       | クライアントの DNS 到達可能性の問題                       | クライアントが DNS サーバーから応答を取得できませんでした。                                                              |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの除外 - クライアントがローミング前に除外される       | ワイヤレスクライアントの除外 - クライアントがローミングの前に除外されました。                                                      |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - クライアントのタイムアウト           | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - クライアントのタイムアウトにより認証に失敗しました。                                                 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - DHCP タイムアウト             | ワイヤレスクライアントの接続に 10 秒を超える時間がかかりました。DHCP サーバーまたはクライアントのタイムアウトにより、IP 学習フェーズで遅延が発生しました。           |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - 不正な PSK                 | 複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗し、ワイヤレスコントローラによって除外されました。クライアントの PSK が、設定された WLAN PSK と一致しなかったため、除外されました。 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - WLC 内部エラー               | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - ワイヤレスコントローラ内部エラー。                                                          |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - AAA サーバーによるクライアントの拒否 | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - AAA サーバーによりクライアントが拒否されました。                                              |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - AAA サーバーのタイムアウト      | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - AAA サーバーでタイムアウトが発生しました。                                                 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - クライアント PMK 未検出       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - クライアント PMK が見つかりません。                                                    |

| ワイヤレスクライアントの問題 |                                              |                                                                                                                                |
|----------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ           | 問題の名称                                        | [Summary]                                                                                                                      |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - クライアントのタイムアウト          | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - クライアントのタイムアウトにより認証に失敗しました。                                                                               |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - セキュリティパラメータの不一致        | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - セキュリティパラメータが一致していません。                                                                                    |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - WLC 設定エラー              | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - ワイヤレスコントローラ 設定エラー。                                                                                       |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - WLC 内部エラー              | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - ワイヤレスコントローラ 内部エラー。                                                                                       |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの AP 間のローミング失敗 - 外部エラー            | ワイヤレスクライアントの AP 間のローミング失敗 - 外部エラーが発生しました。                                                                                      |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの AP 間のローミング失敗 - WLC 設定の不一致       | ワイヤレス LAN コントローラの設定不一致により、複数のワイヤレスクライアントが AP 間のローミングで失敗しました。                                                                   |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかった - 認証タイムアウトによる過剰な時間    | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかったのは、認証のタイムアウトが原因です。この問題が発生するクライアントは、AAA サーバーまたはワイヤレスコントローラでグループ化されています。          |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかる - DHCP サーバーの障害による過剰な時間 | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかるのは、DHCP サーバーの障害が原因です。この問題が発生するクライアントは、DHCP サーバーまたはワイヤレスコントローラです。                 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかった - ログイン情報エラーによる過剰な接続時間 | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかったのは、ログイン情報エラーによる認証の遅延が原因でした。この問題が発生するクライアントは、AAA サーバーまたはワイヤレスコントローラでグループ化されています。 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかった - WLC の障害による過剰な時間     | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかったのは、認証中のワイヤレス LAN コントローラの障害が原因でした。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されています。      |

## ワイヤレスクライアントの問題

| ワイヤレスクライアントの問題 |                                                         |                                                                                                                                                                              |
|----------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ           | 問題の名称                                                   | [Summary]                                                                                                                                                                    |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかった - AAA サーバーまたはネットワークの遅延による過剰な認証時間 | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかったのは、認証の遅延が原因でした。認証の遅延は、AAA サーバーまたはネットワークの遅延によるものでした。                                                                           |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの除外 - IP 盗難の問題                               | 複数のワイヤレスクライアントが、ワイヤレスネットワークへの接続から除外されました。クライアントで IP 盗難の問題が検出されました。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されています。                                                                  |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - AAA サーバーによるクライアントの拒否                 | AAA サーバーの拒否の失敗が理由で、複数のワイヤレスクライアントが認証に失敗しました。AAA サーバーがクライアントの認証要求を拒否しました。この問題が発生するクライアントは、AAA サーバーまたはワイヤレスコントローラでグループ化されています。                                                 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - AAA サーバーのタイムアウト                      | AAA サーバーのタイムアウトの失敗により、複数のワイヤレスクライアントが認証に失敗しました。この障害は、ワイヤレスコントローラが AAA からクライアントの認証メッセージに対する応答を受信せず、再試行後にタイムアウトした場合に発生します。この問題が発生するクライアントは、AAA サーバーまたはワイヤレスコントローラでグループ化されています。 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - クライアント PMK 未検出                       | 認証の問題により、複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。クライアントの PMK が見つかりませんでした。                                                                                                                   |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - DHCP サーバーのタイムアウト                     | 複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。DHCP サーバーのタイムアウトにより、IP 学習フェーズで障害が発生しました。複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。この問題が発生するクライアントは、DHCP サーバーまたはワイヤレスコントローラでグループ化されています。                              |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - クライアントのタイムアウトにより認証失敗                 | 複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。クライアントがタイムアウトしたため、認証に失敗しました。クライアントが認証メッセージに時間内に応答できませんでした。この問題が発生するクライアントは、サイトまたは AP グループでグループ化されます。                                                |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - クライアントのタイムアウトによる IP アドレス取得失敗         | 複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。クライアントがタイムアウトしたため、IP アドレスを取得できませんでした。クライアントが DHCP メッセージに時間内に応答できませんでした。この問題が発生するクライアントは、サイトまたは AP グループでグループ化されます。                                   |

| ワイヤレスクライアントの問題 |                                                             |                                                                                                                                                                         |
|----------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ           | 問題の名称                                                       | [Summary]                                                                                                                                                               |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - DHCPサーバーまたはクライアントのタイムアウトによる IP アドレスを取得失敗 | 複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。DHCPサーバーのタイムアウト、またはクライアントのタイムアウトにより、IP アドレスを取得できませんでした。DHCPサーバーまたはクライアントが DHCP メッセージに時間内に応答できませんでした。この問題が発生するクライアントは、サイトまたは AP グループでグループ化されます。 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - セキュリティパラメータの不一致                          | セキュリティパラメータの不一致が原因で発生した認証の問題により、複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。                                                                                                               |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続失敗 - WLC 設定エラー                                | 認証の問題により、複数のワイヤレスクライアントが接続に失敗しました。ワイヤレス LAN コントローラの設定エラーがあります。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されています。                                                                 |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - WLC のクライアント除外ポリシー                     | 複数のワイヤレスクライアントがローミングに失敗しました。クライアントは、ワイヤレス LAN コントローラのクライアント除外ポリシーにより除外されました。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されています。                                                   |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - クライアントがローミングの前に除外される                  | 複数のワイヤレスクライアントがローミングに失敗しました。クライアントは、ローミング前にワイヤレス LAN コントローラで除外されました。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されています。                                                           |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントのローミング失敗 - WLC 設定の不一致                            | ワイヤレス LAN コントローラの設定不一致により、複数のワイヤレスクライアントが AP 間のローミングで失敗しました。                                                                                                            |
| オンボーディング       | ワイヤレスクライアントの接続に時間がかかる - WLC の障害                             | 複数のワイヤレスクライアントの接続に時間がかかりました。オンボーディングに過剰に時間がかかったのは、認証中のワイヤレス LAN コントローラの障害が原因でした。この問題が発生するクライアントは、ワイヤレスコントローラでグループ化されます。                                                 |
| 接続されている状態      | デュアルバンド対応クライアントが 5 GHz より 2.4 GHz を優先                       | デュアルバンド対応クライアントは、より優れたエクスペリエンスを提供する 5 GHz 無線が利用できるにもかかわらず、一貫して 2.4 GHz 無線に接続しています。                                                                                      |
| 接続されている状態      | ワイヤレスクライアントの RF が弱い                                         | ワイヤレスクライアントに、ローミングできる、信号の強いネイバー AP がないため、クライアントの RF 状態が低下しています。                                                                                                         |

| ワイヤレスクライアントの問題 |                       |                                                                      |
|----------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ           | 問題の名称                 | [Summary]                                                            |
| 接続されている状態      | ワイヤレスクライアントのスティッキーな動作 | ワイヤレスクライアントは、信号が弱いAPとのアソシエーションを維持しています。信号強度の高い利用可能なAPにローミングする必要があります |

## AAA 障害の根本原因分析の問題を有効にする

Cisco DNA Center は、Cisco ISE syslog と統合して、次の問題をトラブルシューティングします。

- ワイヤレスクライアントの接続失敗：AAA サーバーによりクライアントが拒否されました
- ワイヤレスクライアントの接続失敗：AAA サーバーのタイムアウト

トラブルシューティング ワークフローは、[Client 360] ウィンドウの単一のクライアントの問題から、または [Issues] ダッシュボードのワイヤレスクライアントの問題からアクセスする MRE ワークフローです。

Cisco DNA Center は、クライアント認証の失敗に対して Cisco ISE によって生成された syslog を表示します。これにより、Cisco ISE にログインしてそこでクライアントを検索することなく、クライアント認証の失敗の根本原因を特定できます。

アシユアランス で AAA 障害の根本原因分析の問題を有効にするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** Cisco DNA Center で、[System] > [Settings] > [External Services] > [Authentication and Policy Servers] の順に選択し、Cisco ISE を Cisco DNA Center に追加して設定します。この手順により、Cisco ISE ポリシーサービスノード (PSN) が syslog 許可リストに追加されます。

**ステップ 2** Cisco ISE で、[Administration] > [System] > [Logging] > [Remote Logging Targets] の順に選択し、Cisco DNA Center を syslog の接続先として追加します。

**ステップ 3** Cisco ISE で、[Administration] > [System] > [Logging] > [Logging Categories] の順に選択し、前の手順で追加したターゲットをロギングカテゴリの [Failed Attempts]、[Authentication Flow Diagnostics]、および [RADIUS Diagnostics] に追加します。

Cisco ISE syslog を Cisco DNA Center に送信できるようになりました。Cisco DNA Center はクライアントのオンボーディングの問題について、Cisco ISE syslog を処理して保存します。

## アプリケーションの問題

アシユアランス によって検出されるアプリケーションの問題を次の表に示します。

| アプリケーションの問題 |                     |                             |
|-------------|---------------------|-----------------------------|
| カテゴリ        | 問題の名称               | [Summary]                   |
| アプリケーション    | アプリケーションエクスペリエンスの問題 | アプリケーションエクスペリエンスに関するすべての問題。 |

## センサーの問題

アシユアランス で検出されるセンサーの問題を次の表に示します。

同じフロアにある 2 つ以上のセンサーが 30 分間のテストに失敗した場合、センサーは失敗の根本原因に基づいて問題を報告することがあります。これらのセンサーの問題はすべてグローバルな問題です。つまり、すべてのフロアのセンサーの問題がエスカレーションされて、[Issues] ダッシュボードに表示されます。

| センサーの問題 |                          |                                                    |
|---------|--------------------------|----------------------------------------------------|
| カテゴリ    | 問題の名称                    | [Summary]                                          |
| センサーテスト | センサー-速度テスト HTTP エラー      | クエリサーバーへのアクセス中、複数のセンサーが速度テスト HTTP エラーを報告しています。     |
| センサーテスト | センサー - DHCP の障害          | 複数のセンサーが IPv4 アドレスを取得できませんでした。                     |
| センサーテスト | センサー - DNS 解決の失敗         | 複数のセンサーが DNS サーバーによるドメイン名の解決に失敗しました。               |
| センサーテスト | センサー - オンボーディング時の関連付けの失敗 | 複数のセンサーがオンボーディング時の関連付けに失敗しました。                     |
| センサーテスト | センサー - オンボーディング時の認証の失敗   | 複数のセンサーがオンボーディング時の認証に失敗しました。                       |
| センサーテスト | センサー - FTP テスト失敗         | 複数のセンサーが FTP サーバーに接続できないことを報告しています。                |
| センサーテスト | センサー - FTP 転送の失敗         | 複数のセンサーが FTP サーバーとのファイル転送に失敗したことを報告しています。          |
| センサーテスト | センサー - FTP 到達不能          | 複数のセンサーが FTP サーバーに到達できないことを報告しています。                |
| センサーテスト | センサー - iPerf の無効な設定エラー   | 無効な iPerf 設定を受信したため、複数のセンサーが iPerf テストを実行できませんでした。 |
| センサーテスト | センサー - iPerf サーバーがビジー状態  | iPerf のビジー状態エラーが原因で、複数のセンサーが iPerf テストを実行できませんでした。 |

| センサーの問題 |                           |                                                                   |
|---------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ    | 問題の名称                     | [Summary]                                                         |
| センサーテスト | センサー - iPerf テストネットワークエラー | iPerfのネットワークエラーが原因で、複数のセンサーがiPerfテストを実行できませんでした。                  |
| センサーテスト | センサー - iPerf 未定義のエラー      | 未定義エラーが原因で、複数のセンサーがiPerfテストを実行できませんでした。                           |
| センサーテスト | センサー - IPSLA IP アドレスなし    | 複数のセンサーが Cisco DNA Center から IPSLA テスト IP アドレスを受信していないことを報告しています。 |
| センサーテスト | センサー - IPSLA 応答なし         | 複数のセンサーが IPSLA テストで IPSLA 応答側からの応答がないことを報告しています。                  |
| センサーテスト | センサー - IPSLA ソケットエラー      | 複数のセンサーが IPSLA テストソケットエラーを報告しています。                                |
| センサーテスト | センサー - IPSLA テスト失敗        | 複数のセンサーが IPSLA テスト失敗を報告しています。                                     |
| センサーテスト | センサー - IPSLA 非対応プローブタイプ   | 複数のセンサーが IPSLA テスト非対応プローブタイプを報告しています。                             |
| センサーテスト | センサー - メールサーバーのテスト失敗      | 複数のセンサーがメールサーバーに接続できなかったことを報告しています。                               |
| センサーテスト | センサー - メールサーバーに到達不能       | 複数のセンサーがメールサーバーに到達できないことを報告しています。                                 |
| センサーテスト | センサー - NDT サーバーなし         | 複数のセンサーが速度テスト NDT サーバーが存在しないことを報告しています。                           |
| センサーテスト | センサー - オンボーディングの障害        | センサーがワイヤレスネットワークに接続できませんでした。                                      |
| センサーテスト | センサー - Outlook サーバーのテスト失敗 | 複数のセンサーが Outlook Web アクセスに接続できなかったことを報告しています。                     |
| センサーテスト | センサー - Outlook サーバーに到達不能  | 複数のセンサーが Outlook Web アクセスホストに到達できないことを報告しています。                    |
| センサーテスト | センサー - クエリサーバーのタイムアウト     | 複数のセンサーが速度テスト対象クエリサーバーのタイムアウトを報告しています。                            |
| センサーテスト | センサー - RADIUS 認証の失敗       | 複数のセンサーが RADIUS サーバーでの認証に失敗したことを報告しています。                          |
| センサーテスト | センサー - 速度テスト失敗            | 複数のセンサーが速度テスト失敗を報告しています。                                          |




| センサーの問題 |                            |                                               |
|---------|----------------------------|-----------------------------------------------|
| カテゴリ    | 問題の名称                      | [Summary]                                     |
| センサーテスト | センサー - 速度テストの一般的なエラー       | 複数のセンサーが速度テストの一般的な障害を報告しています。                 |
| センサーテスト | センサー - 速度テストのアップリンクタイムアウト  | 複数のセンサーが速度テストでのアップリンクテストのタイムアウトを報告しています。      |
| センサーテスト | センサー - 速度テスト URL エラー       | クエリサーバーへのアクセス中、複数のセンサーが速度テスト URL エラーを報告しています。 |
| センサーテスト | センサー - 到達不能なホスト            | 複数のセンサーがホストへの ping の失敗を報告しています。ホストに到達できません。   |
| センサーテスト | センサー - 到達不能な RADIUS        | 複数のセンサーが RADIUS サーバーに到達できないことを報告しています。        |
| センサーテスト | センサー - Web 認証の失敗           | 複数のセンサーが、クライアントが Web 認証テストに失敗していることを報告しています。  |
| センサーテスト | センサー - Web サーバーのテスト失敗      | 複数のセンサーが Web サーバーからページをロードできなかったことを報告しています。   |
| センサーテスト | センサー - Web サーバーに到達不能       | 複数のセンサーが Web サーバーに到達できないことを報告しています。           |
| センサーテスト | センサー - Web ソケットエラー         | 複数のセンサーがテスト中に速度テスト websocket エラーを報告しています。     |
| センサーテスト | センサー - 速度テストのアップリンクプロキシエラー | 複数のセンサーが速度テストのアップリンクテストでプロキシエラーを報告しています。      |

次の表には、前の表のすべての行に加えて、Cyclopsで削除するように求められた行が含まれています。次の表には、dnac\_hide\_content FID が適用されています。この情報が必要になる場合に備えて、行を保持します（ただし、すべてを非表示にします）。

## AI 駆動型の問題

Cisco AI Network Analytics によって検出される AI 駆動型の問題を次の表に示します。

| AI 駆動型の問題 |                                                                                                         |                                                                            |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 接続の問題     |                                                                                                         |                                                                            |
| オンボーディング  |  過剰な接続時間 - 基準から大きく乖離 | 通常と比較して、ネットワークでのオンボーディング時間がかなり長くなっています。クライアントは、SSID に接続するのに通常より時間がかかっています。 |

## AI 駆動型の問題

| AI 駆動型の問題           |                                      |                                                                                                                |
|---------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オンボーディング            | AI 過剰な接続障害回数 - 基準から大きく乖離             | ネットワークで、通常と比較して過剰なオンボーディングエラーが発生しています。クライアントは、 <i>SSID</i> に接続するのに通常より時間がかかっています。                              |
| オンボーディング            | AI 過剰なワイヤレスクライアントの接続時間 - 基準を上回る合計時間  | ワイヤレスクライアントが、 <i>location</i> にある <i>SSID</i> への接続に時間がかかりました。                                                  |
| AAA                 | AI 過剰な関連付け時間 - 基準から大きく乖離             | 過剰な関連付け時間 - <i>SSID</i> での時間が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                                      |
| AAA                 | AI 過剰な関連付け障害回数 - 基準から大きく乖離           | 過剰な関連付け障害回数 - <i>SSID</i> での障害回数が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                                  |
| AAA                 | AI 過剰な認証時間 - 基準から大きく乖離               | 過剰な認証時間 - <i>SSID</i> での時間が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                                        |
| AAA                 | AI 過剰な認証障害回数 - 基準から大きく乖離             | 過剰な認証障害回数 - <i>SSID</i> での障害回数が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                                    |
| DHCP                | AI IP アドレスの取得にかかる過剰な時間 - 基準から大きく乖離   | IP アドレスを取得するための過剰な時間 - <i>server_IP</i> からの取得時間が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                   |
| DHCP                | AI 過剰な IP アドレス取得失敗回数 - 基準から大きく乖離     | 過剰な IP アドレス取得失敗回数 - <i>server_IP</i> での障害回数が少なくとも <i>value%</i> 増加しています。                                       |
| ネットワークの接続性に関する問題    |                                      |                                                                                                                |
| 接続性                 | AI ネットワークデバイスでホスト MAC アドレスのフラッピングが発生 | ネットワークでレイヤ 2 のループ症状が発生しています。                                                                                   |
| ローミングの問題            |                                      |                                                                                                                |
| オンボーディング            | AI 過剰な接続時間 - 基準から大きく乖離               | 通常と比較して、ネットワークでのオンボーディング時間がかなり長くなっています。                                                                        |
| オンボーディング            | AI ローミング時間の超過障害 - 基準から大きく乖離          | 通常と比較して、ネットワークでのローミング時間がかなり長くなっています。                                                                           |
| アプリケーションエクスペリエンスの問題 |                                      |                                                                                                                |
| スループット              | AI すべてのアプリケーションの合計無線スループットの低下        | ネットワーク内の AP で、すべてのアプリケーションの合計無線スループットが低下しています。これらの無線は <i>frequency</i> 帯域内にあります。これらの無線は <i>location</i> にあります。 |

| AI 駆動型の問題 |                               |                                                                                                              |
|-----------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スループット    | AI クラウドアプリケーションの無線スループットの低下   | ネットワーク内の AP で、クラウドアプリケーションのスループットが低下しています。これらの無線は <i>frequency</i> 帯域内にあります。これらの無線は <i>location</i> にあります。   |
| スループット    | AI ソーシャルアプリケーションの無線スループットの低下  | ネットワーク内の AP で、ソーシャルアプリケーションのスループットが低下しています。これらの無線は <i>frequency</i> 帯域内にあります。これらの無線は <i>location</i> にあります。  |
| スループット    | AI メディアアプリケーションの無線スループットの低下   | ネットワーク内の AP で、メディアアプリケーションのスループットが低下しています。これらの無線は <i>frequency</i> 帯域内にあります。これらの無線は <i>location</i> にあります。   |
| スループット    | AI Colab アプリケーションの無線スループットの低下 | ネットワーク内の AP で Colab アプリケーションのスループットが低下しています。これらの無線は <i>frequency</i> 帯域内にあります。これらの無線は <i>location</i> にあります。 |

## MRE の問題

次の表に、MRE ワークフローを使用してトラブルシューティング可能なアシュアランスで検出される問題を示します。

| MRE の問題     |                            |                                                                              |
|-------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリ        | 問題の名称                      | [Summary]                                                                    |
| 有線クライアントの問題 |                            |                                                                              |
| オンボーディング    | クライアントの DHCP 到達可能性の問題      | クライアントが DHCP サーバーから IPv4 アドレスを取得できませんでした。                                    |
| オンボーディング    | 有線クライアント認証エラー - Dot1.x エラー | Dot1.x の問題が原因で、有線クライアントの認証に失敗しました。<br><br>(注) この問題は、単独の有線クライアントにのみ適用されます。    |
| オンボーディング    | 有線クライアント認証エラー - MAB エラー    | MAC 認証バイパスの問題が原因で、有線クライアントの認証に失敗しました。<br><br>(注) この問題は、単独の有線クライアントにのみ適用されます。 |
| PoE の問題     |                            |                                                                              |
| デバイス        | PoE 受電デバイスに障害フラグあり         | PoE ポートに接続された PoE 対応デバイスに障害があると Syslog イベントにフラグが付きしました。                      |



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。